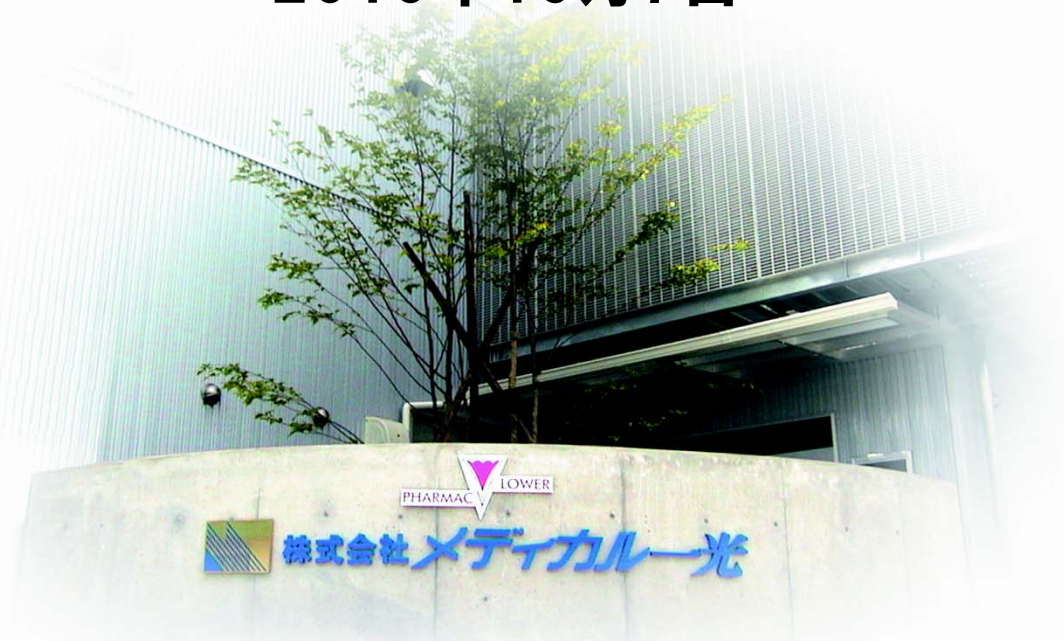


株式会社メディカルー光

2011年2月期 第2四半期決算説明会

2010年10月7日



代表取締役副社長 西井 文平

JASDAQ

(証券コード：3353)

I. 当社の事業展開

I. 当社の事業展開

II. 事業を取り巻く環境変化

III. 第2四半期決算概要

IV. セグメント別事業展開

■ 当社の経営方針・戦略

基本方針 「良質の医療・介護サービスをより多くの人に提供する」

中長期的な経営戦略

- ◇良質のM & Aによるスケールの拡大
- ◇調剤薬局事業の収益体制強化
- ◇ヘルスケア事業を第二の成長エンジンに



調剤薬局事業

- ・医療サービスの質的向上
- ・収益性の確保と規模の拡大
- ・安全性を最優先した
患者様満足度の向上



医薬品卸事業

- ・三重県下の医療機関を
中心とする販路の拡大
- ・岐阜県下での新規開拓



ヘルスケア事業

- ・高齢化社会の進展による
社会的ニーズに応える



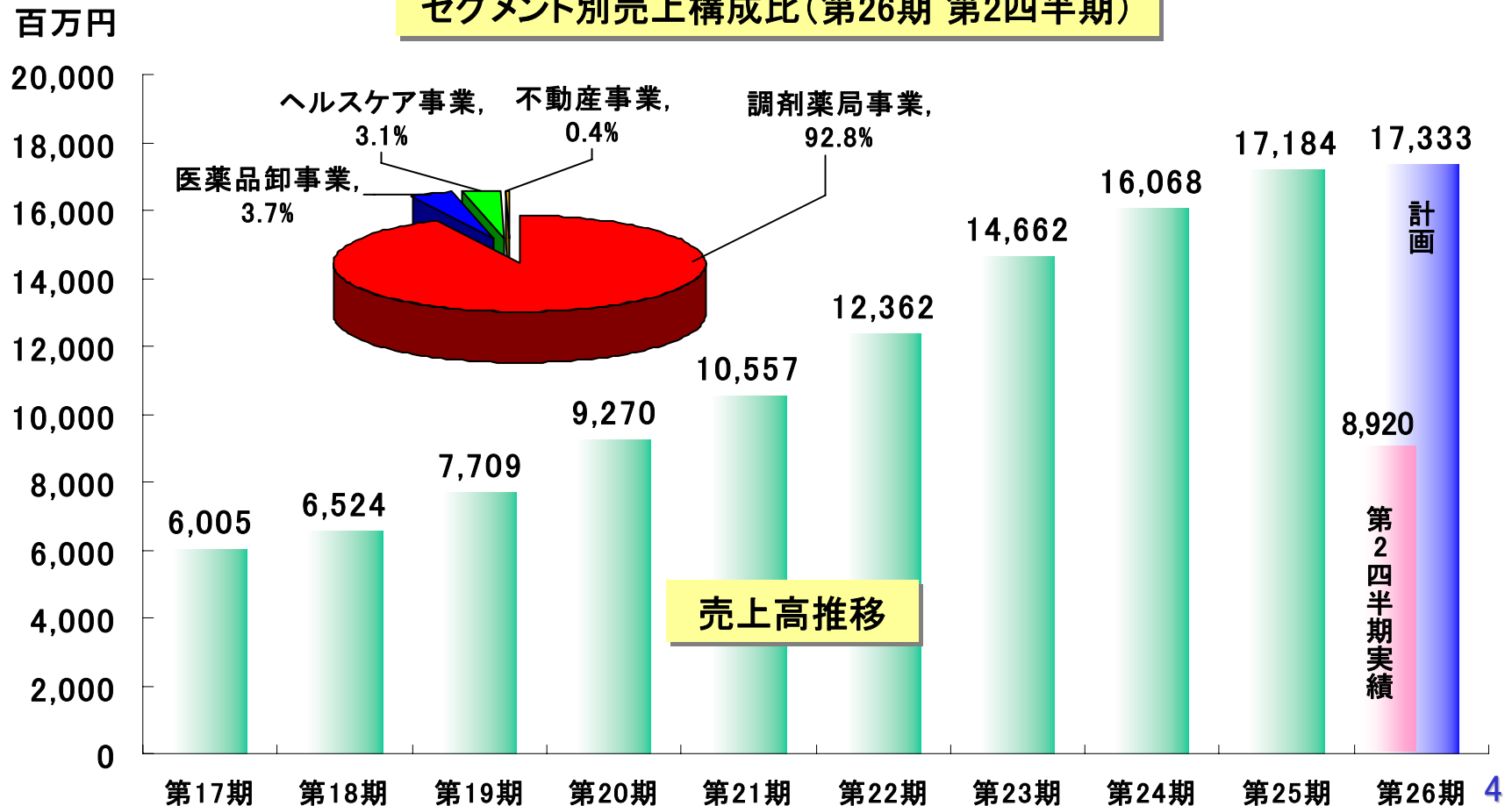
不動産事業

- ・一般不動産を所有することで
安定収入を確保する

■ これまでの歩み



セグメント別売上構成比(第26期 第2四半期)



※第22期から連結

II. 事業を取り巻く環境変化

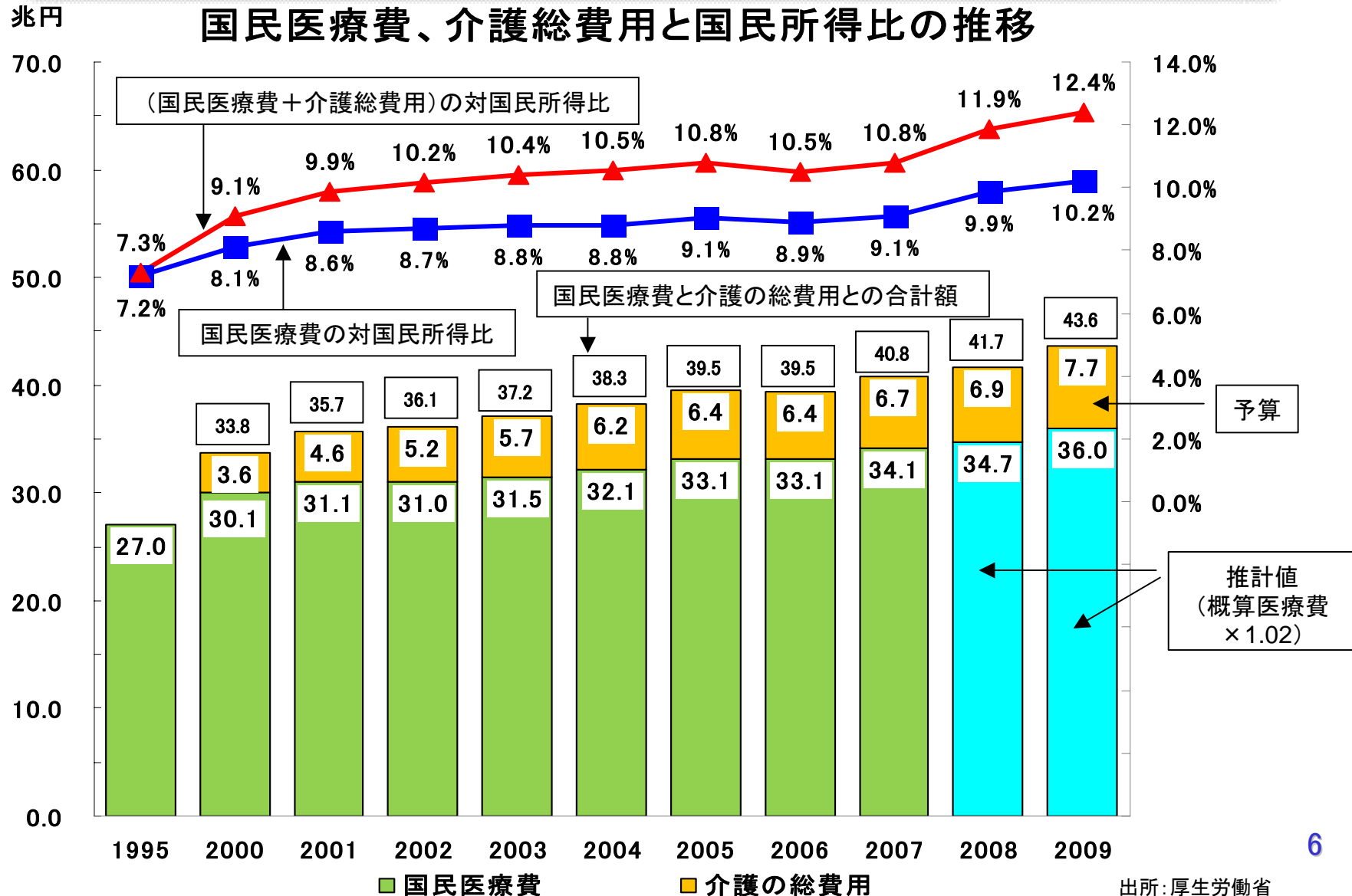
I. 当社の事業展開

II. 事業を取り巻く環境変化

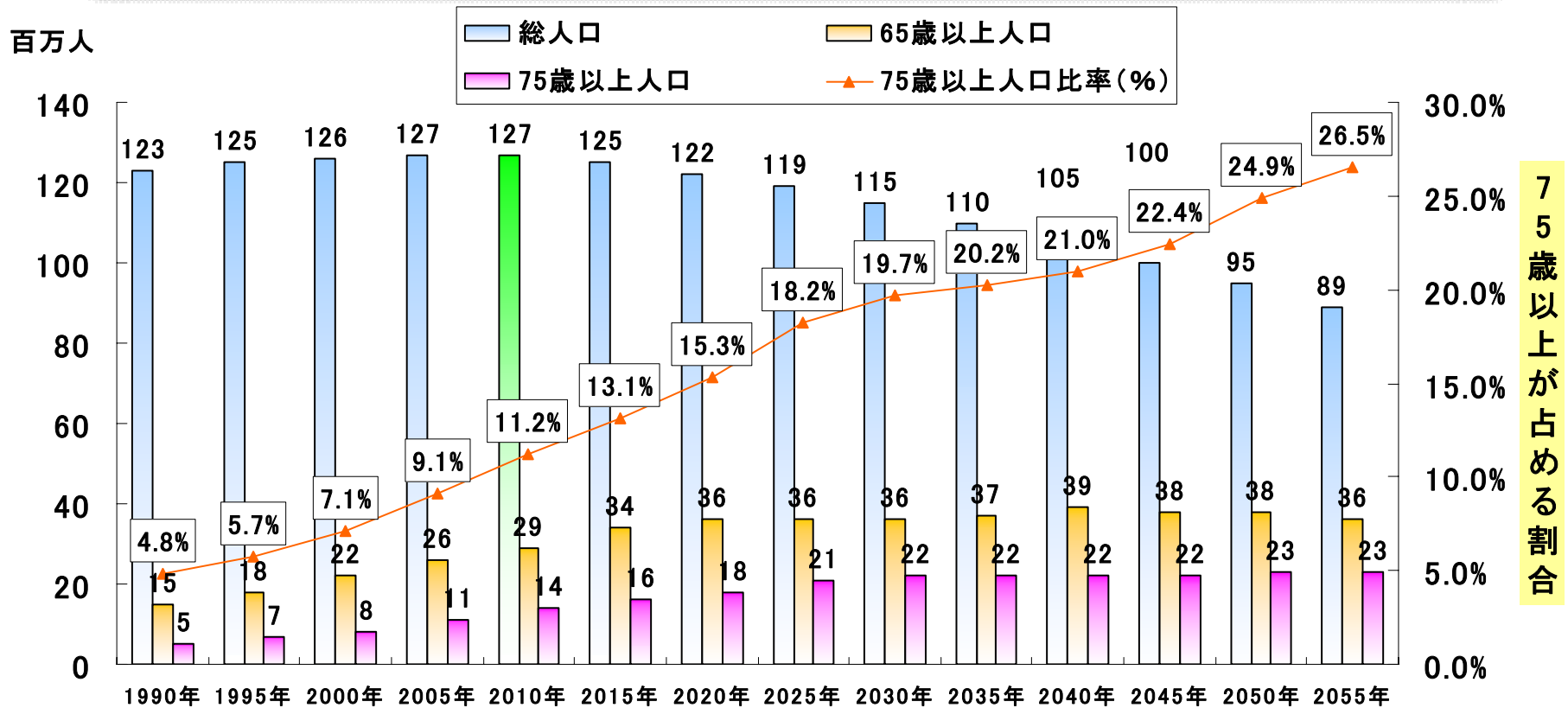
III. 第2四半期決算概要

IV. セグメント別事業展開

国民医療費の動向



人口推移と将来推計



	2010年	2030年	2055年
総人口	127,176	115,224	89,930
65歳以上	29,412	36,670	36,463
構成比率%	23.1%	31.8%	40.5%

	2010年	2030年	2055年
総人口	127,176	115,224	89,930
75歳以上	14,222	22,659	23,866
構成比率%	11.2%	19.7%	26.5%

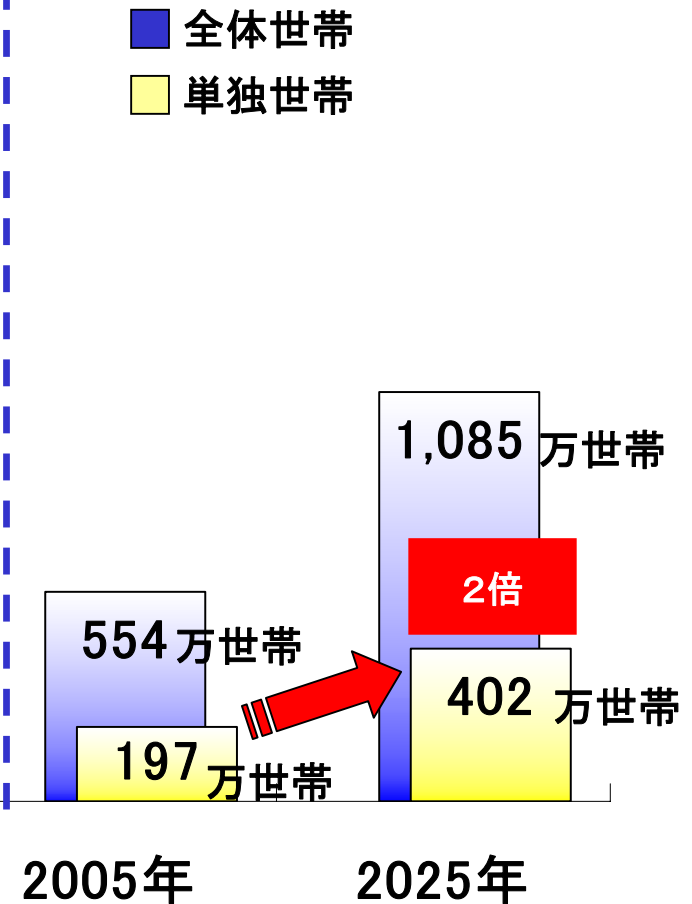
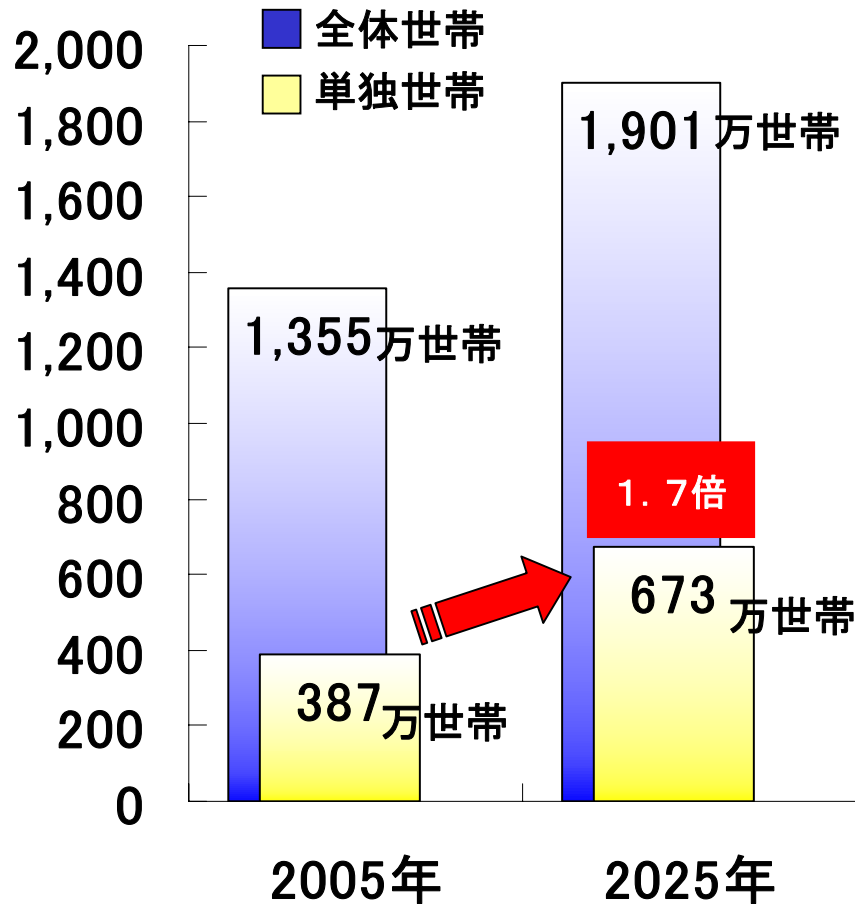
(単位:千人)

■ 高齢者世帯の将来推計

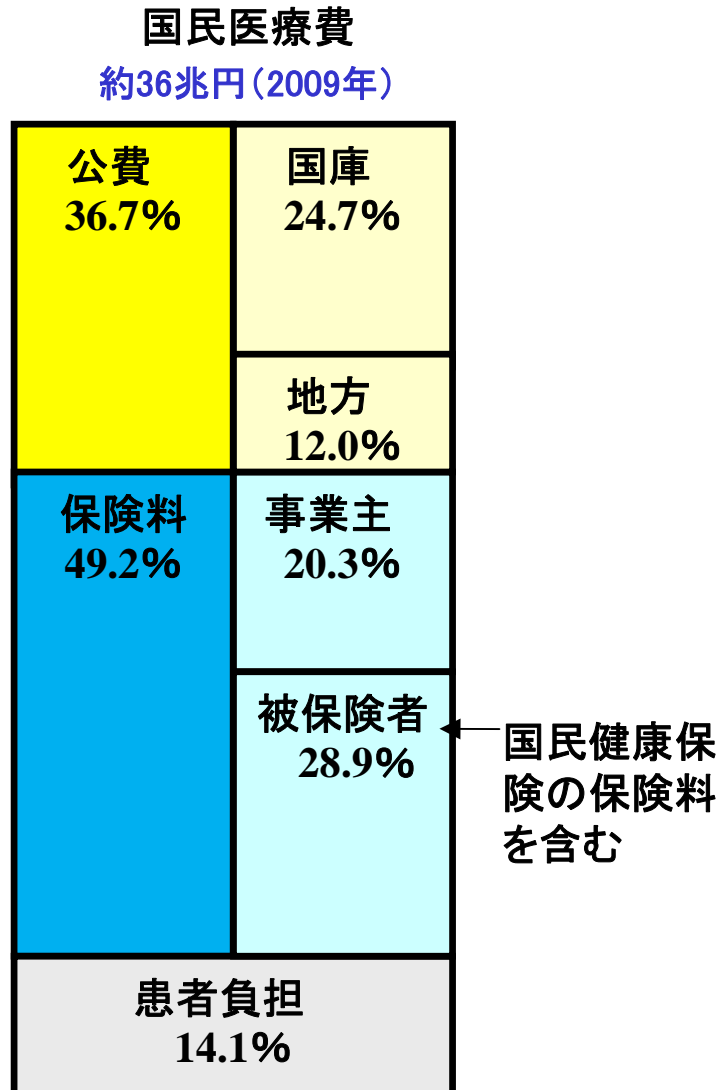
万世帯

世帯主が65歳以上の世帯

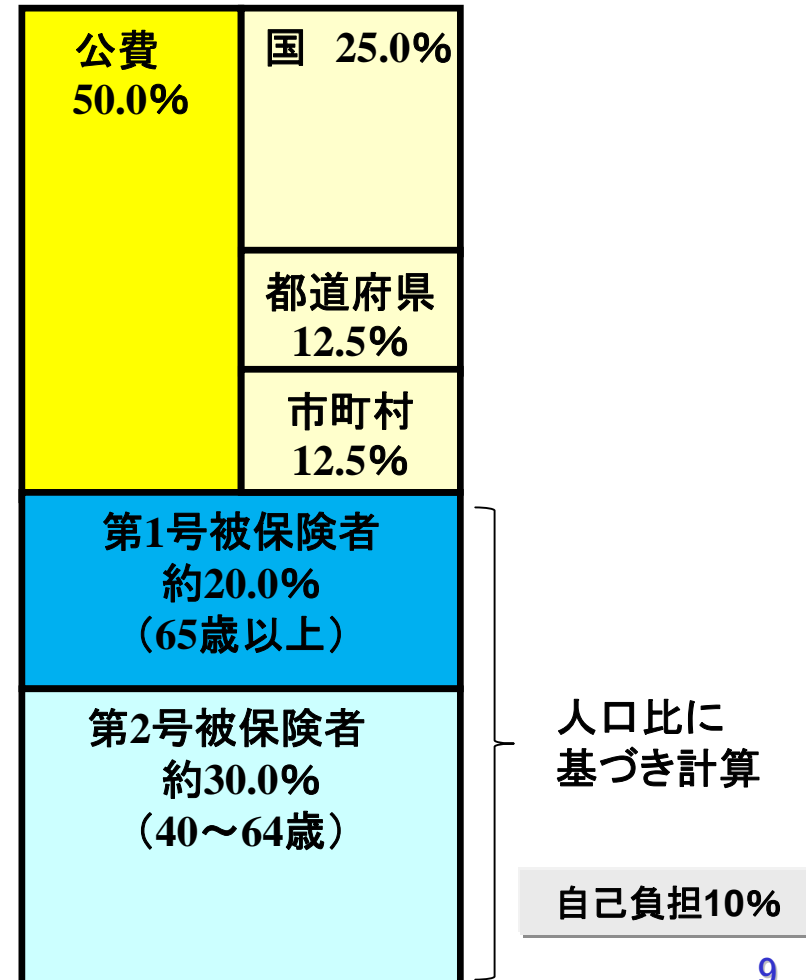
世帯主が75歳以上の世帯



■ 国民医療費、介護保険の負担割合



介護保険給付費(利用者負担を除く)
約7兆円(2009年)



■ 患者自己負担の推移

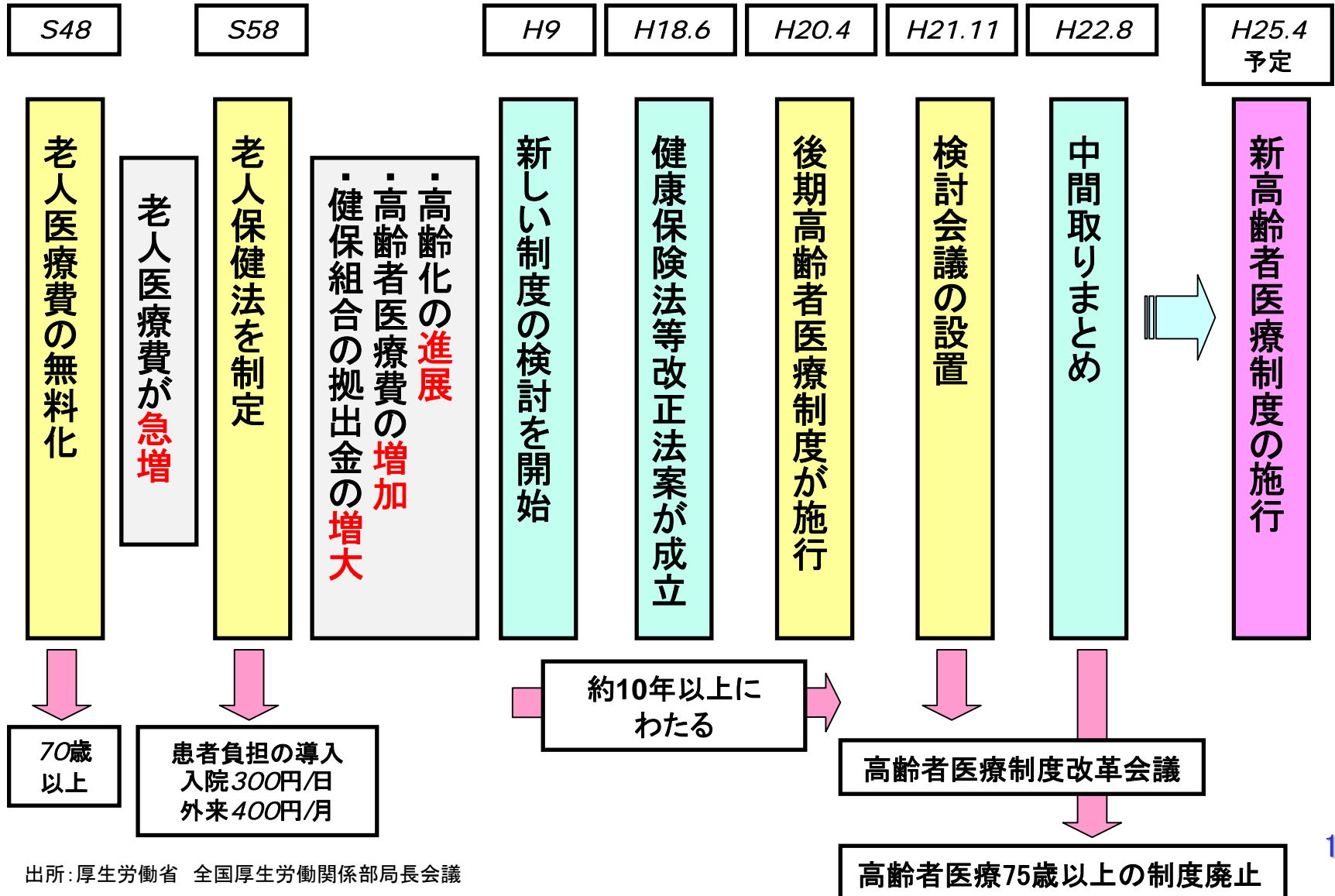
株式会社メディカル一光

S48.1			S58.2	S58.2	H9.9	H14.10	H15.4	H18.10	H20.4	
老人	老人医療費支給制度 (老人福祉法)		老人保健制度						75歳以上	後期高齢者医療制度
	—		入院 300円/日 外来 400円/月	→ 1,000円/日 → 500円/日 (月4回まで) +薬剤一部負担	定率1割負担 (月額上限付) 薬剤一部負担の廃止 高額医療費創設	定率1割負担 (現役並所得者2割負担)		定率1割負担 (現役並所得者)		1割負担 (現役並所得者は3割)
若人	国保	3割負担 高額療養費創設(S48～)		入院3割負担 外来3割負担+薬剤一部負担			3割負担 薬剤一部負担廃止	3割負担	70歳未満	3割負担
	被用者本人	定額→1割負担(S59～) 高額療養費創設		入院2割負担 外来2割負担+薬剤一部負担						
	被用者家族	3割負担(S48～) 高額療養費創設(S48～) 入院2割負担(S56～) 外来3割負担		入院2割負担 外来3割負担+薬剤一部負担						

注1) 平成6年10月から入院時食事療養費制度創設、平成18年10月から入院時生活療養費制度創設。

注2) 平成14年10月から3歳未満の乳幼児は2割負担に軽減、平成20年4月から義務教育就学前へ範囲を拡大。

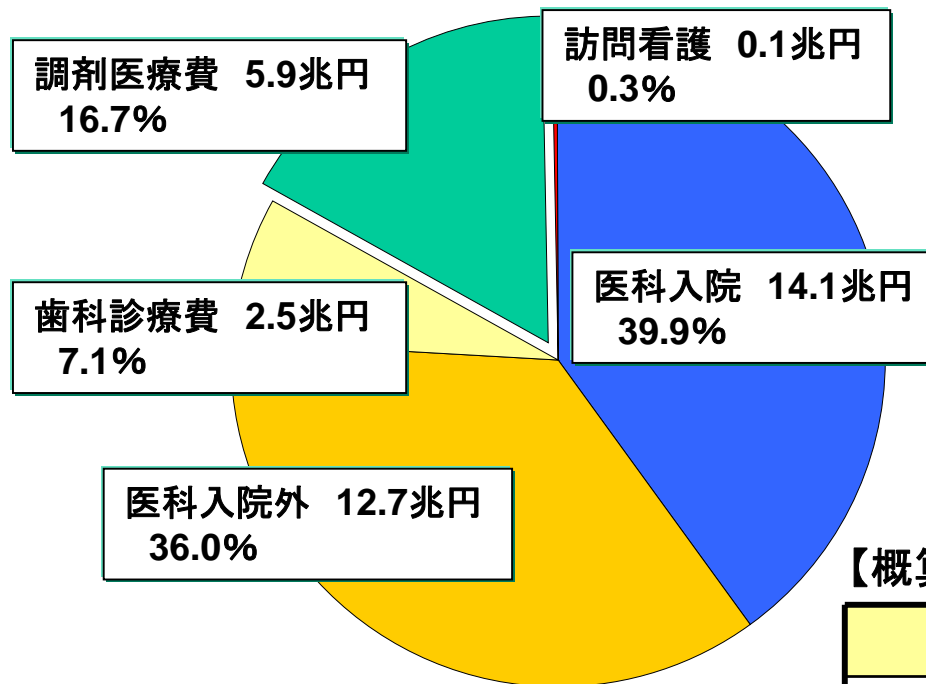
■ 高齢者医療制度の歩み



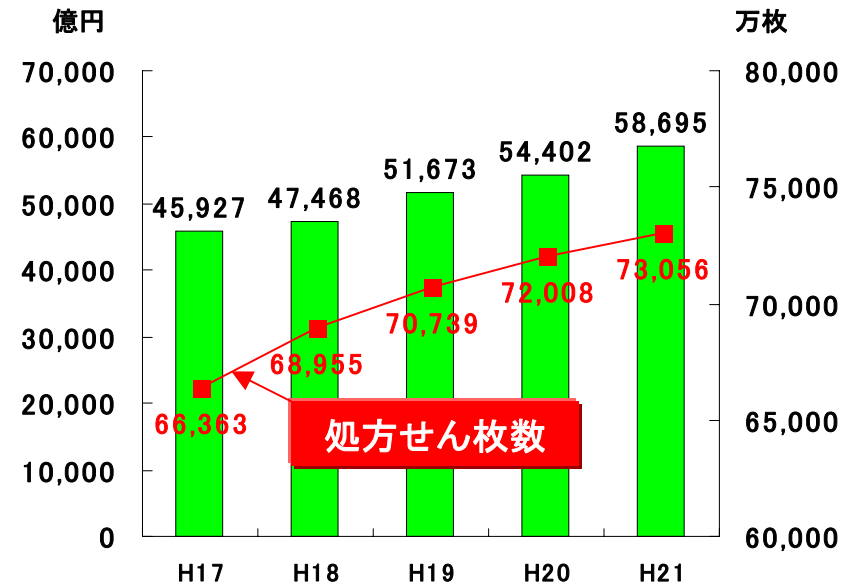
■ 概算医療費と調剤医療費

【診療種類別の概算医療費(全数)】

全体で**35.3兆円**(H21.4~H22.3)



【調剤医療費と処方せん枚数の推移】



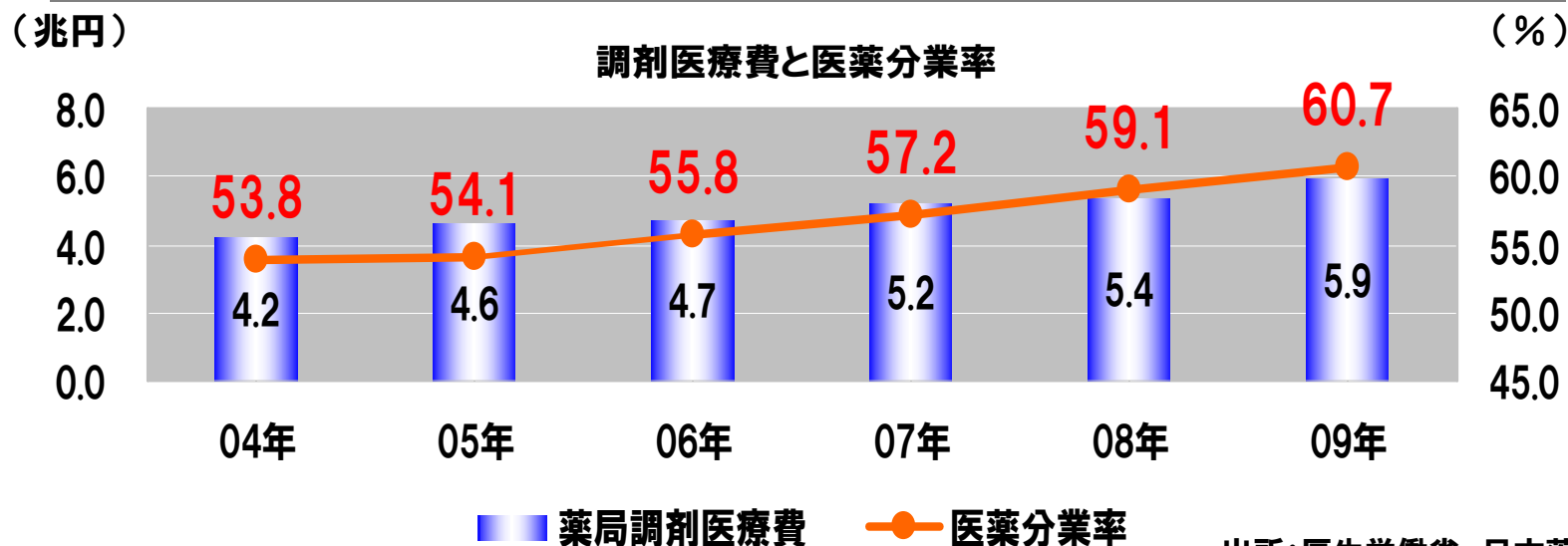
【概算医療費と調剤医療費】

単位: 兆円

	H20	H21	差異
概算医療費	34. 1	35. 3	1. 19
調剤医療費	5. 44	5. 86	0. 42

■ 調剤医療費と医薬分業率

◆ 調剤医療費は5兆9千億円、調剤市場は穏やかな拡大



出所:厚生労働省、日本薬剤師会

◆ 分業率 上位の都道府県

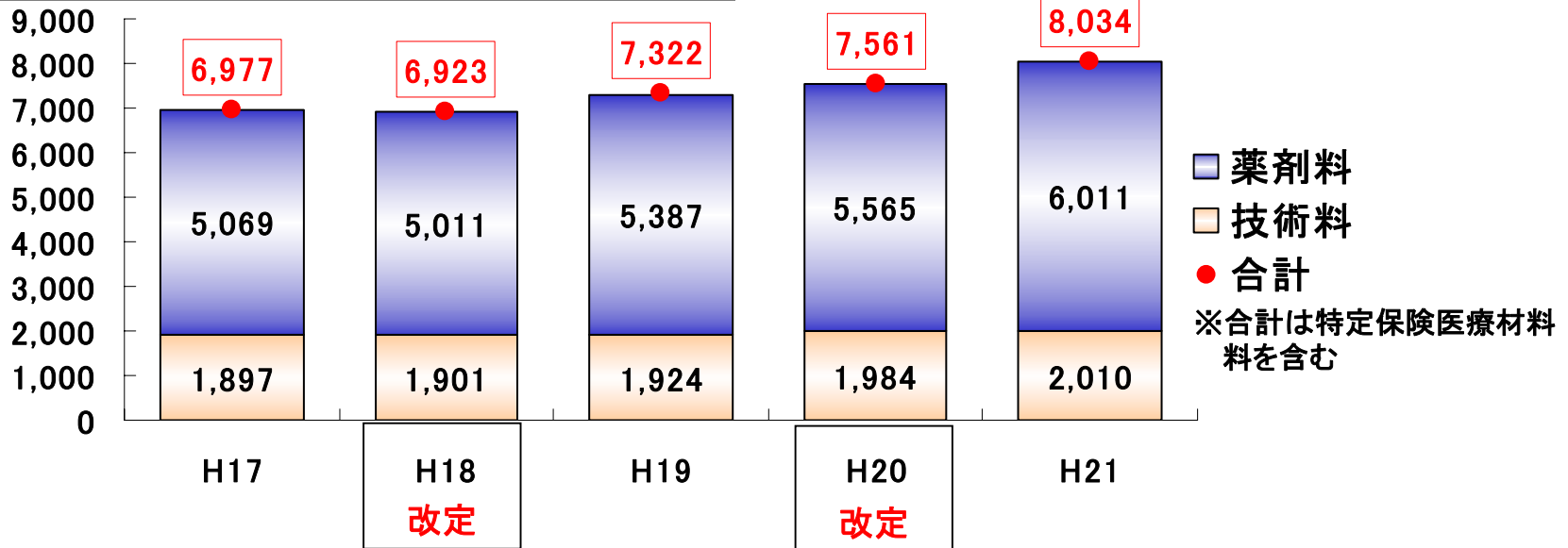
	2007年	2009年	2年間の比較
①秋田	75.0%	77.8%	+2.8%
②神奈川	72.1%	74.7%	+2.6%
③佐賀	71.8%	73.7%	+1.9%
④新潟	69.4%	72.4%	+3.0%
⑤宮城	68.2%	71.3%	+3.1%

◆ 分業率 下位の都道府県

	2007年	2009年	2年間の比較
①福井	26.0%	29.3%	+3.3%
②和歌山	32.9%	37.0%	+4.1%
③京都	35.4%	40.0%	+4.6%
④徳島	37.3%	41.5%	+4.2%
⑤愛媛	39.1%	42.2%	+3.1%

■ 調剤医療費(電算処理分)

処方せん1枚当たりの調剤医療費の内訳

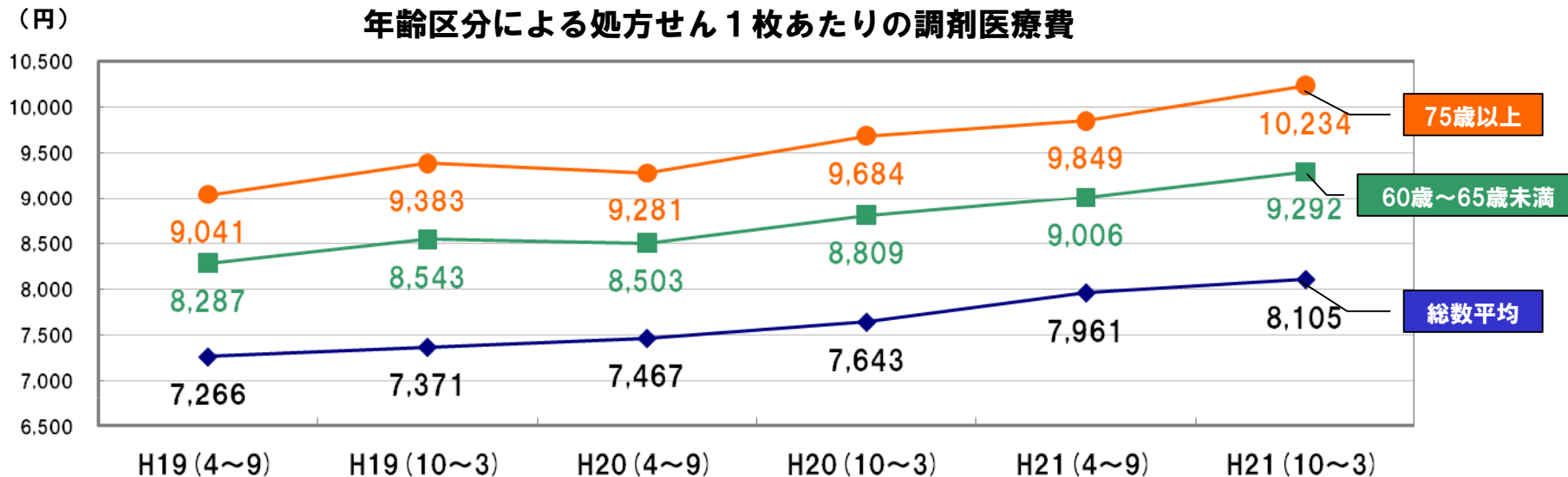


内服薬 処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解

※内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料の伸び率を分解

	平成	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	前年度比
薬剤料/枚(円) ※内服薬		4,296	4,243	4,571	4,706	5,087	8.1%
薬剤種類数/枚(種類)		2.77	2.80	2.83	2.85	2.87	0.4%
投薬日数(日)		16.7	17.3	17.9	18.8	19.7	※ 4.5%
薬剤料/1種類1日(円)		93	88	90	88	90	3.0%

■ 年齢区分による調剤医療費

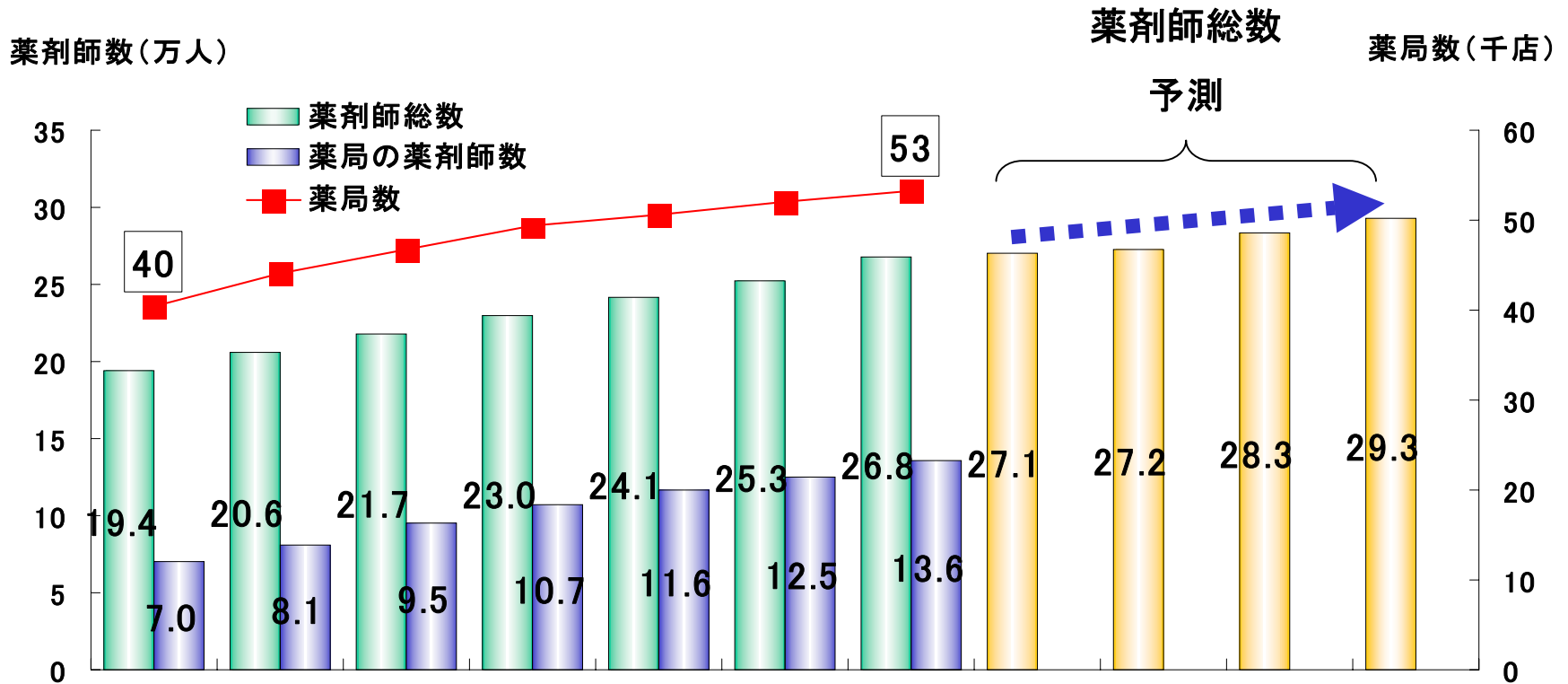


【高齢者の調剤医療費（処方せん1枚あたりの単価）】

（単位：円）

	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	H19 (4～9)	H19 (10～3)	H20 (4～9)	H20 (10～3)	H21 (4～9)	H21 (10～3)
総数平均	7,266	7,371	7,467	7,643	7,961	8,105
60歳以上65歳未満	8,287	8,543	8,503	8,809	9,006	9,292
65歳以上70歳未満	8,472	8,716	8,645	8,969	9,171	9,481
70歳以上75歳未満	8,726	9,011	8,926	9,282	9,448	9,774
75歳以上	9,041	9,383	9,281	9,684	9,849	10,234

■ 薬剤師数の推移と予測



	'96	'98	'00	'02	'04	'06	'08
定員数	7,720	7,720	7,820	8,110	10,315	12,454	13,494
入学者数	9,156	9,174	9,296	9,293	11,916	13,184	—

単位:人

2007年6月開催「第2回薬剤師需給の将来動向に関する検討会」配布資料における薬剤師の供給増加率の試算データを使い、2016年までの薬剤師総数を予測。

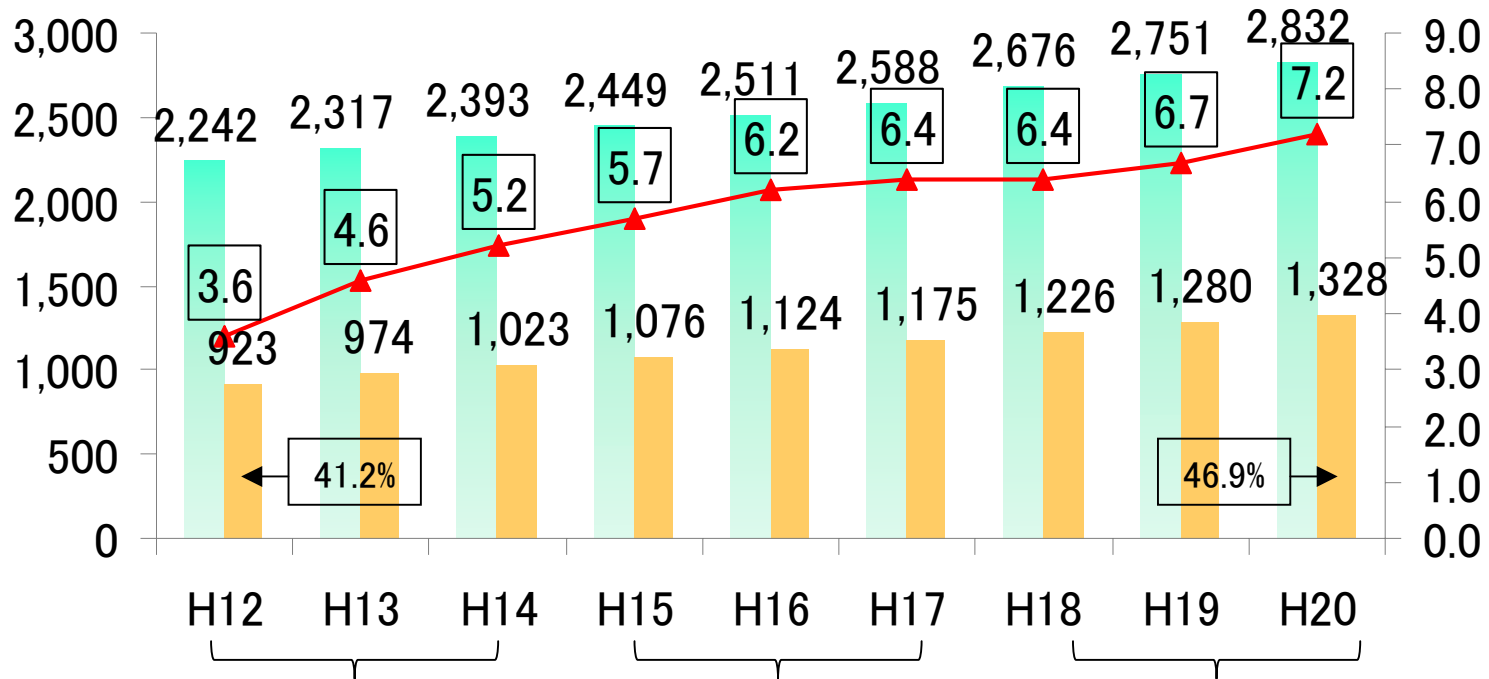
6年制入学者の卒業は、2012年以降

■ 介護保険の実施状況

万人

兆円

第1号被保険者合計 75歳以上の第1号被保険者 介護保険総費用



保険料

2,911円

3,293円

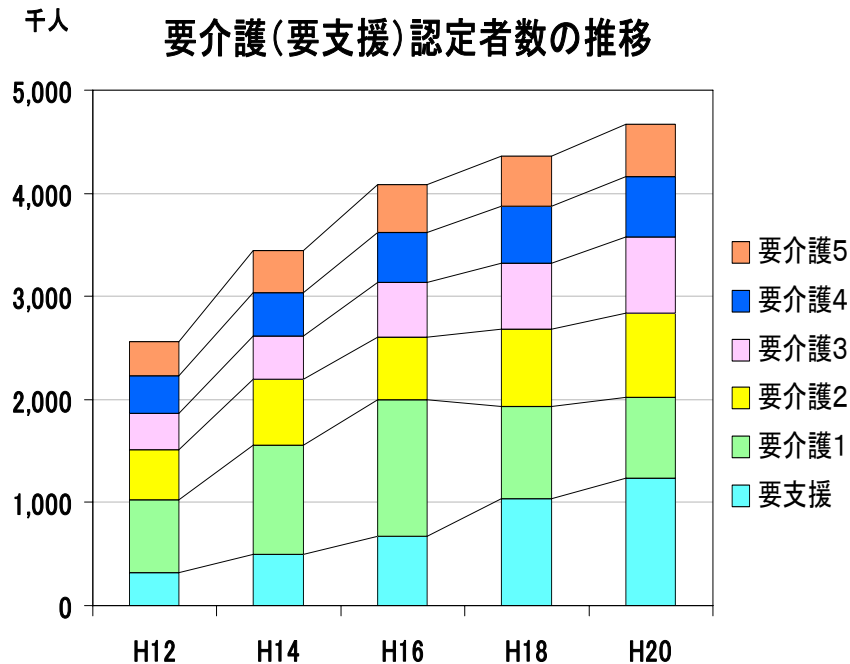
4,090円

(H21-H23)

4,160円

※65歳以上の全国平均保険料

■ 要介護認定者数の推移



単位: 千人

	H12	H14	H16	H18	H20
要支援	322	499	669	1,035	1,232
要介護					
1	701	1,056	1,328	895	784
2	484	636	611	750	821
3	355	426	522	645	736
4	363	419	493	544	587
5	337	409	463	486	513
合計(要介護)	2,240	2,946	3,417	3,320	3,441

出所: 厚生労働省 介護保険事業状況報告

《年齢別要介護認定率》

○ 75才以上高齢者の要介護認定率は、65～74歳の高齢者の約6倍

	人口	要介護認定者数	要介護認定率
65～74歳の高齢者	1,476.1万人	65.8万人	4.5%
75歳以上の高齢者	1,270.3万人	377.9万人	29.8%

出所: 社会保障国民会議 参考資料

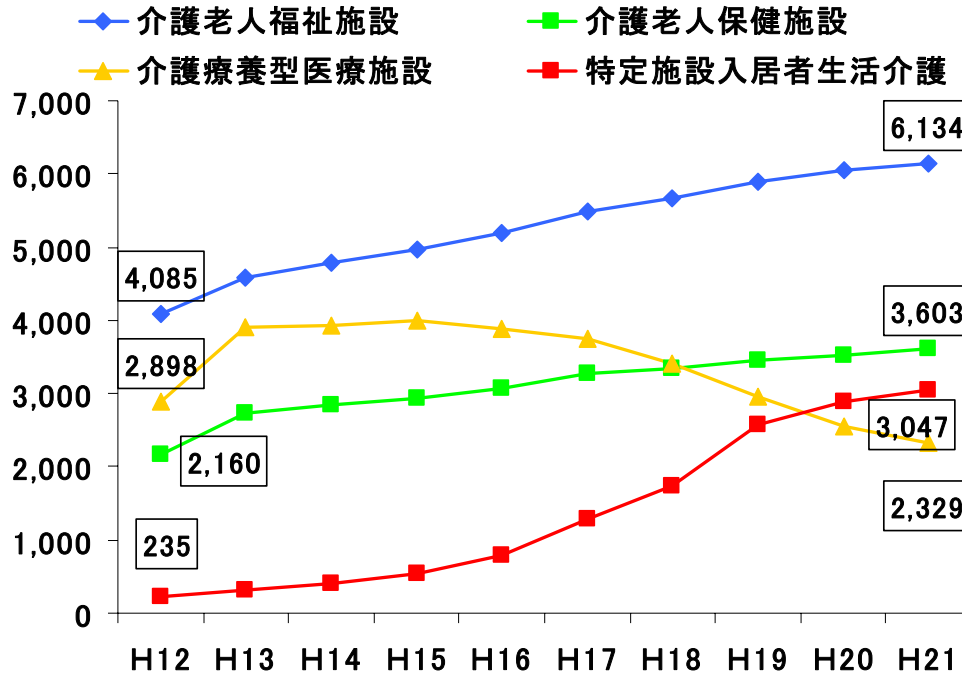
種類	分類	支給限度額
要支援1・2	介護予防	49,700～114,000円程度
要介護1	部分的介護	165,800～183,000円程度
要介護2	軽度の介護	194,800～215,000円程度
要介護3	中度の介護	267,500～295,000円程度
要介護4	重度の介護	306,000～338,000円程度
要介護5	最重度の介護	358,300～395,000円程度

※全て自己負担は1割

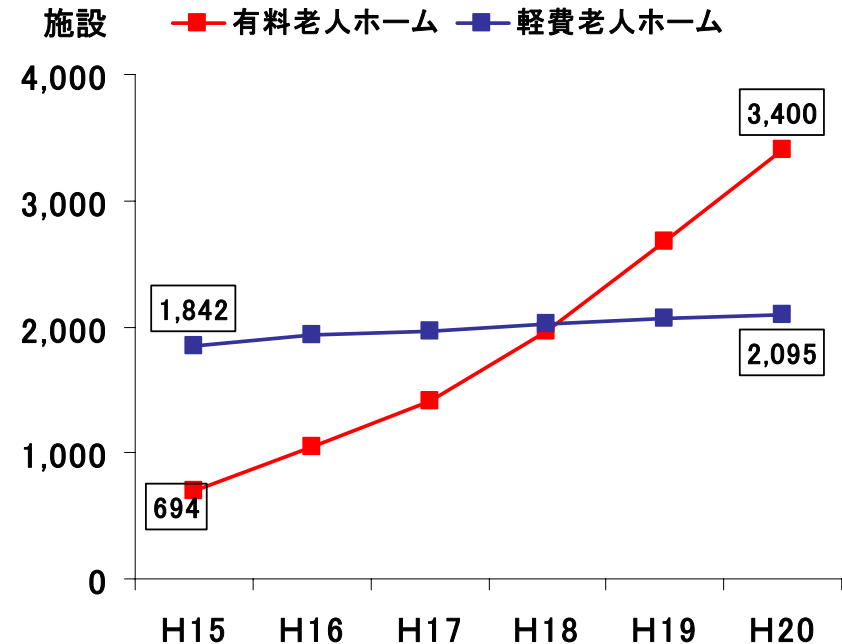
出所: 厚生労働省 介護保険事業状況報告

■ 介護事業者・施設数の推移

介護サービス事業者数の推移



老人関係施設の施設数推移



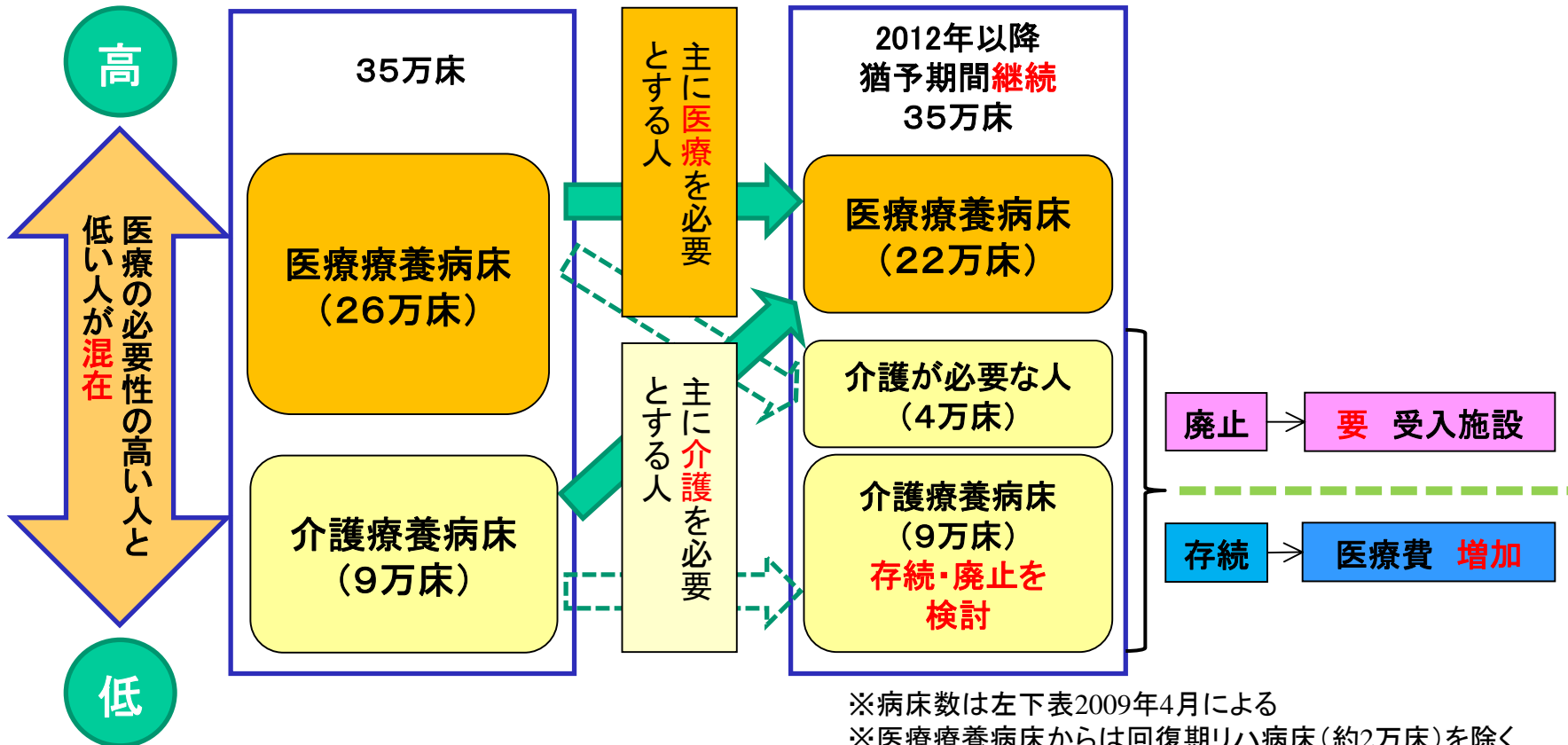
特定施設の総量規制廃止(内閣府行政刷新会議2010年6月)

参酌標準 2012年度撤廃の合意

「施設の利用者数を要介護2以上の人の37%以下に抑えるもの」

■ 介護型療養病床

「介護型療養病床の廃止」 → 「12年度以降も猶予」



※病床数は左下表2009年4月による

※医療療養病床からは回復期リハ病床(約2万床)を除く

	06年4月	06年10月	07年4月	07年10月	08年4月	08年10月	09年4月
医療療養病床数	263,742	251,880	251,449	252,284	255,802	258,852	260,452
介護療養病床数	120,700	117,573	113,851	109,536	103,810	99,314	94,839
療養病床数合計	384,442	369,453	365,300	361,820	359,612	358,166	355,291

出所: 厚生労働省大臣官房統計情報部「病院報告」から (06年以外は概数)

■ 平成22年度 診療報酬等の改定の影響

1. 平成22年度診療報酬改定の概要

全体	+0.19%(⇒医療費ベース 約700億円)
技術料	+1.55%(⇒医療費ベース 約5,700億円)
医科	+1.74%(入院3.03%、外来0.31%)
歯科	+2.09%
調剤	+0.52%
薬価・材料	▲1.36%(⇒医療費ベース ▲約5,000億円)
薬価	▲1.23%(⇒医療費ベース ▲約4,500億円) 薬価ベース ▲5.75%
材料価格	▲0.13%

(1) 全体改定率 +700億円

① 10年ぶりのネットプラス改定

(2) 調剤薬局事業における改定

① 技術料 +0.52%

・調剤医療費 5.8兆円とすると
⇒ 約300億円

・処方せん枚数 7億3千万枚＋枚数増加
を考慮すると ⇒ 1枚当たり +30円

② 薬価改定 薬価ベースで▲5.75%

(実質6.5%程度の影響)

・薬剤費を7.8兆円と仮定した概算金額

2. 改定後の影響(当社との比較)

(1) 薬価改定

① 処方せん1枚当たりの薬剤料単価を前年同月で比較 「約▲6.0%～▲6.5%」

② 薬価改定日における在庫評価減

(2) 技術料

① 改定前と比較 ～ 処方せん1枚当たり +30円強上昇

■ 後発医薬品の国内シェアの推移

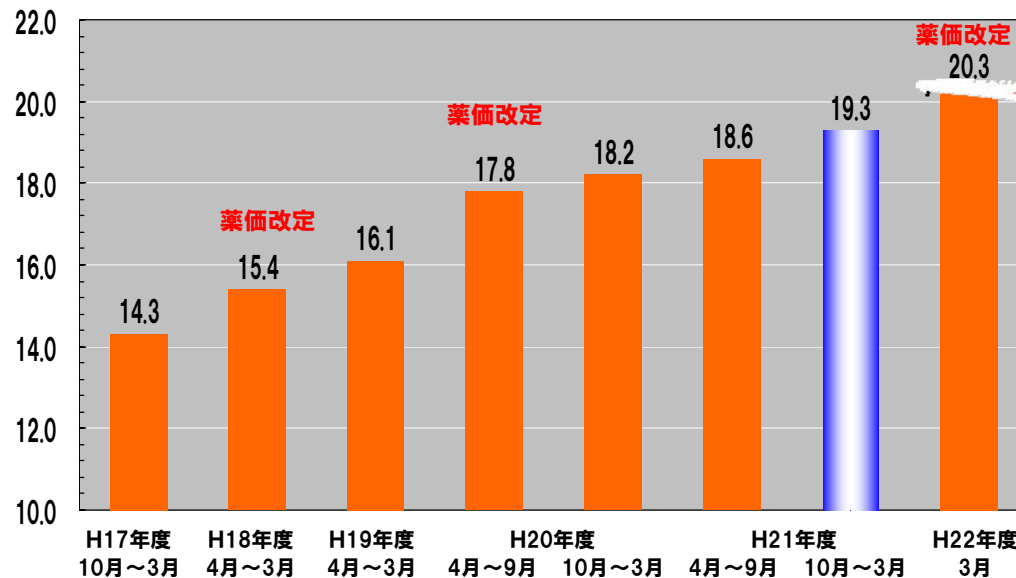
(1)後発医薬品の割合(数量ベース)、後発医薬品調剤率

株式会社メディカル一光

- ☆後発医薬品の使用割合(数量)は、H18~H22.3末で5ポイント増加
- ☆追補収載は、5月と11月の年2回実施(後発品市場が拡大)

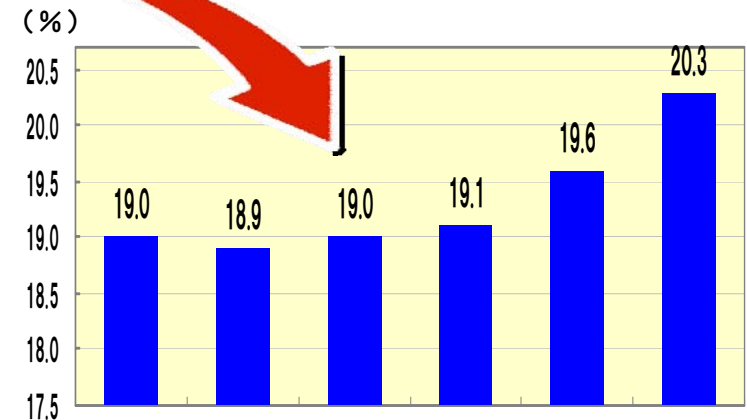
(%)

ジェネリック医薬品の割合(数量ベース)



政府目標

2012年度末までに
30%へ



	H21年 10月	H21年 11月	H21年 12月	H22年 1月	H22年 2月	H22年 3月
後発医薬品割合 (数量ベース)	19.0	18.9	19.0	19.1	19.6	20.3

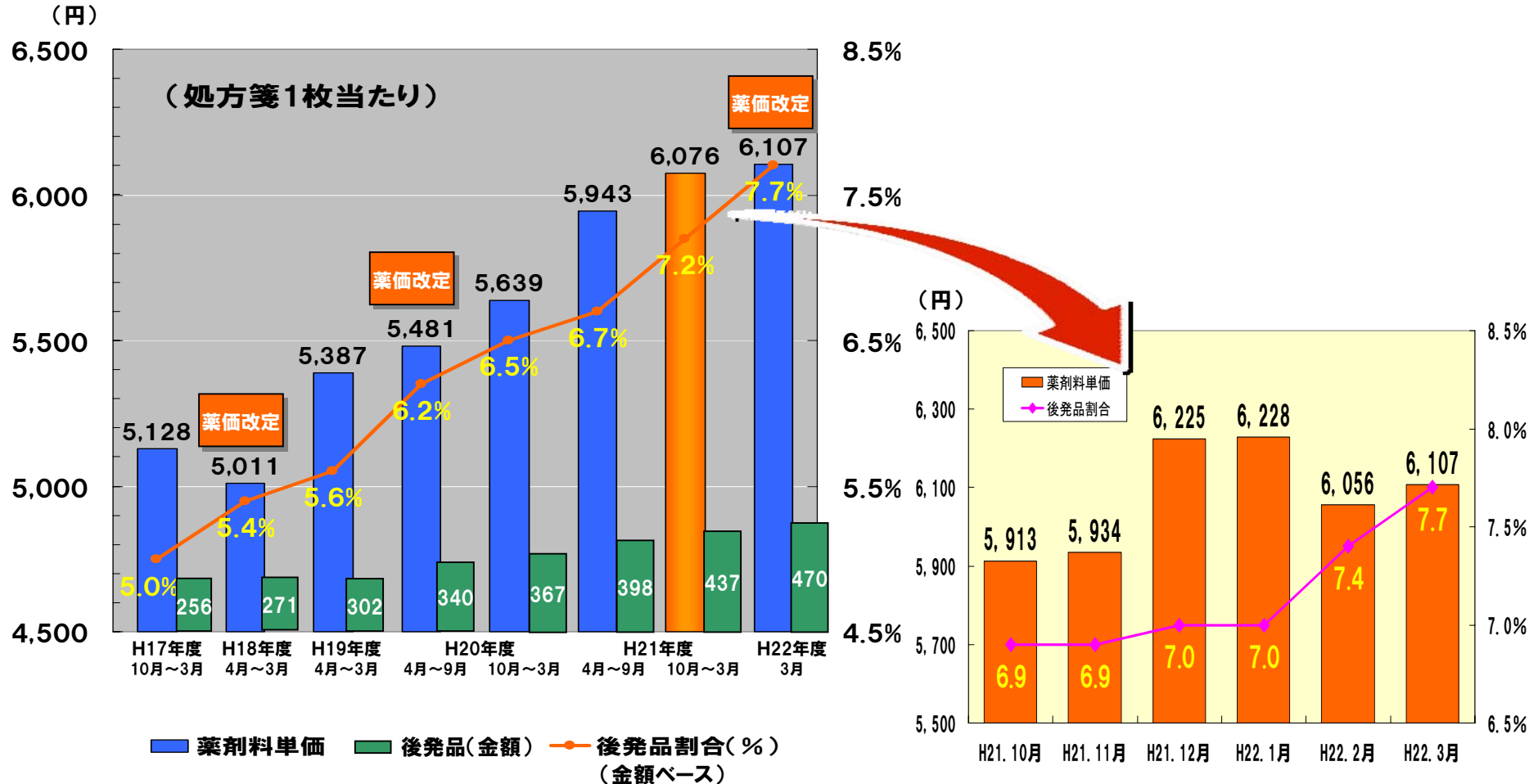
出所:厚生労働省「最近の調剤医療費(電算処理分)の動向の概要

(注1)「数量」とは、薬価基準告示上の企画単位ごとに数えた数量をいう

後発医薬品の国内シェアの推移

(2) 薬剤料に占める医薬品の使用率(金額ベース)

全薬局の平均薬剤料単価と後発品の使用割合



出所:厚生労働省「最近の調剤医療費(電算処理分)の動向の概要

(注1)「数量」とは、薬価基準告示上の企画単位ごとに数えた数量をいう

Ⅲ. 第2四半期決算概要

I. 当社の事業展開

II. 事業を取り巻く環境変化

Ⅲ. 第2四半期決算概要

IV. セグメント別事業展開

■ 2011年2月期 第2四半期 連結業績

- ☆第2四半期連結実績は、コア事業である調剤薬局事業を中心として順調に推移
 ☆経常利益 前期比増益。10年4月の薬価改定に伴う医薬品在庫の評価減をカバー

(単位:百万円)

【計画比】	第2四半期累計		計画比	
	計画	今期実績	増減額	計画比(%)
売上高	8,643	8,920	+277	103.2%
売上総利益	878	923	+45	105.1%
販管費	462	466	+4	100.9%
営業利益	415	457	+42	110.1%
経常利益	379	429	+50	113.2%
四半期純利益	193	245	+52	126.9%

【コメント】

①売上増加 +277百万円

- ・調剤薬局事業～既存店舗増収
- ・医薬品卸～薬価改定をカバーし、増収
- ・ヘルスケア事業～3施設に着手

②四半期純利益

- ・経常利益の増加～経費の効率化
- ・有価証券売却益～31百万円

(単位:百万円)

【前期比】	第2四半期累計		前期比	
	前期実績	今期実績	増減額	前期比(%)
売上高	8,528	8,920	+392	104.6%
売上総利益	920	923	+3	100.3%
販管費	450	466	+16	103.6%
営業利益	470	457	△13	97.2%
経常利益	413	429	+16	103.9%
四半期純利益	201	245	+44	121.9%

【コメント】

①売上総利益 +3百万円

- ・医薬品在庫評価減 35百万円
- ・薬価改定の影響を折込済み

②販管費 +16百万円

- ・募集費及び研修費 +11百万円

③経常利益 +16百万円

- ・営業外費用の減少 △21百万円

■ 2011年2月期 第2四半期(連結) 売上総利益

☆売上総利益 ～粗利益の増加により増益 <計画比 +45百万円 前期比 +3百万円>
～諸経費は、ほぼ計画通りに推移

(単位:百万円)

【計画比】	第2四半期累計		計画比	
	計画	今期実績	増減額	計画比(%)
売上高	8,643	8,920	+277	103.2%
粗利益	2,782	2,824	+42	101.5%
(%)	32.2%	31.7%	-	△0.5%
(労務費)	1,345	1,350	+5	100.4%
(設備関係費)	303	306	+3	101.0%
(諸経費)	254	244	△10	96.1%
売上総利益	878	923	+45	105.1%

(単位:百万円)

【前期比】	第2四半期累計		前期比	
	前期実績	今期実績	増減額	前期比(%)
売上高	8,528	8,920	+392	104.6%
粗利益	2,700	2,824	+124	104.6%
(%)	31.7%	31.7%	-	0.0%
(労務費)	1,253	1,350	+97	107.7%
(設備関係費)	306	306	±0	100.0%
(諸経費)	219	244	+25	111.4%
売上総利益	920	923	+3	100.3%

【コメント】

①粗利益 +42百万円

・調剤薬局事業の売上増加

②売上総利益 +45百万円

・労務費、諸経費等計画通り

【コメント】

①粗利益 +124百万円

・各事業の売上増加による

②労務費 +97百万円

・調剤薬局事業、ヘルスケア事業増加

■ 2011年2月期 第2四半期(連結)

販管費

☆販管費 ～販管費は、ほぼ現状維持 <計画比 +4百万円 前期比 +16百万円>
～諸経費は、ほぼ計画通りに推移

(単位:百万円)

【計画比】	第2四半期累計		計画比	
	計画	今期実績	増減額	計画比(%)
売上高	8,643	8,920	+277	103.2%
売上総利益	878	923	+45	105.1%
(人件費)	263	255	△8	97.0%
(設備関係費)	64	66	+2	103.1%
(諸経費)	134	144	+10	107.5%
販管費合計	462	466	+4	100.9%
(%)	5.35%	5.22%	—	△0.13%
(営業利益)	415	457	+42	110.1%

(単位:百万円)

【前期比】	第2四半期累計		前期比	
	前期実績	今期実績	増減額	前期比(%)
売上高	8,528	8,920	+392	104.6%
売上総利益	920	923	+3	100.3%
(人件費)	248	255	+7	102.8%
(設備関係費)	65	66	+1	101.5%
(諸経費)	136	144	+8	105.9%
販管費合計	450	466	+16	103.6%
(%)	5.28%	5.22%	—	△0.06%
(営業利益)	470	457	△13	97.2%

【コメント】

①販管費 ～計画比 +4百万円

(販管費率 計画比 △0.13%)

②諸経費増 +10百万円

・募集研修費の増加

【コメント】

①販管費 ～前期比 +16百万円

(販管費率 前期比 △0.06%)

②人件費 ～前期比 +7百万円

・本社機能の強化

■ 2011年2月期 第2四半期(連結) セグメント別 実績

- ☆売上高 ～前年同期比では、調剤薬局事業を中心として各事業とも増収
 ☆営業利益 ～調剤薬局事業は、薬価改定の影響を受けるも前期実績を確保
 ～ヘルスケア事業は、既存の3施設は順調に推移。新規開設費用 20百万円を計上

(単位:百万円)

第 2 四 半 期 累 計	10年2月期	第2四半期	11年2月期	第2四半期	前期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
【 売 上 高 合 計 】	8,528	100.0%	8,920	100.0%	+392	—
調 剤 薬 局 事 業	7,925	92.9%	8,276	92.8%	+351	+4.4%
医 薬 品 卸 事 業	406	4.8%	442	5.0%	+36	+8.9%
ヘルスケア事業	255	3.0%	277	3.1%	+22	+8.6%
不 動 産 事 業	36	0.4%	37	0.4%	+1	+2.8%
内 部 売 上 相 殺	△96	△1.2%	△114	△1.3%	△18	—

(単位:百万円)

第 2 四 半 期 累 計	10年2月期	第2四半期	11年2月期	第2四半期	前期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
【 営 業 利 益 合 計 】	470	—	457	—	△13	△2.8%
[共 通 経 費 除 く]	681	100.0%	666	100.0%	△15	△2.2%
調 剤 薬 局 事 業	599	88.1%	600	90.1%	+1	+0.2%
医 薬 品 卸 事 業	21	3.1%	21	3.2%	0	+0.1%
ヘルスケア事業	39	5.9%	24	3.6%	△15	△38.5%
不 動 産 事 業	19	2.9%	20	3.1%	+1	+5.3%
共 通 経 費	210	31.0%	209	31.4%	△1	△0.5%

業績推移

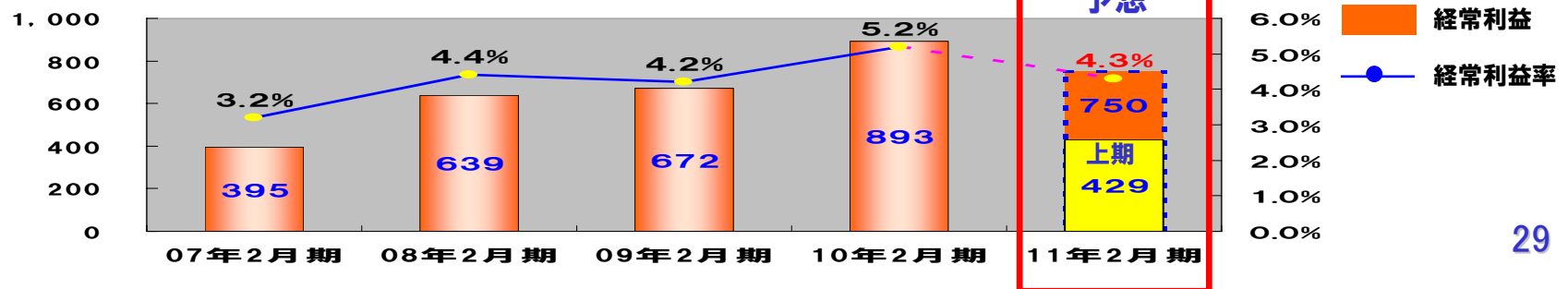
株式会社メディカル一光

☆2011年2月期 通期計画

・第2四半期業績は、薬価改定の影響を受けるも、進捗率は計画を上回っている

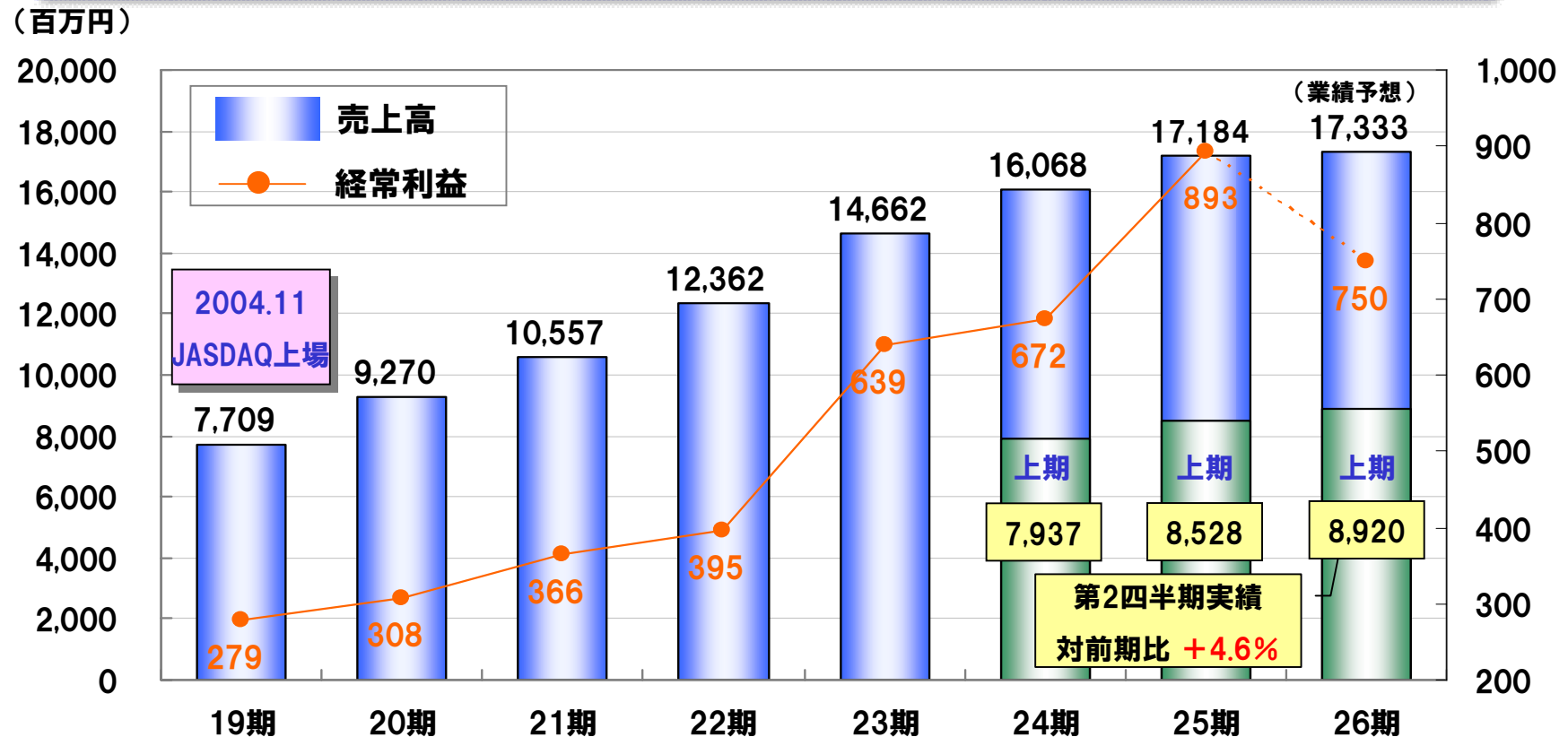
薬価改定		薬価改定		薬価改定		(単位：百万円)	
	07年2月期	08年2月期	09年2月期	10年2月期	11年2月期 (計画)	11年2月期 第2四半期	
						中間実績	進捗率
売上高	12,362	14,662	16,068	17,184	17,333	8,920	51.5%
売上総利益	1,130	1,533	1,638	1,870	1,770	923	52.1%
(%)	(9.1%)	(10.5%)	(10.2%)	(10.9%)	(10.2%)	(10.3%)	—
営業利益	428	712	749	975	826	457	55.3%
(%)	(3.5%)	(4.9%)	(4.7%)	(5.7%)	(4.8%)	(5.1%)	—
経常利益	395	639	672	893	750	429	57.2%
(%)	(3.2%)	(4.4%)	(4.2%)	(5.2%)	(4.3%)	(4.8%)	—
当期純利益	46	289	329	457	362	245	67.7%
(%)	(0.4%)	(2.0%)	(2.0%)	(2.7%)	(2.1%)	(2.7%)	—

(百万円)



■ 売上高・経常利益の推移(連結)

株式会社メディカル一光



(第2四半期)								
純資産 (百万円)	1,639	2,015	2,145	2,101	2,683	2,826	3,288	3,437
配当金総額 (千円)	26,925	32,310	32,310	31,600	39,912	48,450	67,368	—
1株当たり配当金 (円)	3,000	3,600	3,600	3,600	4,000	5,000	3,500	—

(配当金は実績)

(2分割)

■ 2011年2月期 第2四半期 連結B/S

(単位:百万円)

	10年2月期末		11年2月期 第2四半期末		増減額	当期の増減要因
		構成比		構成比		
流動資産	4,540	41.8%	4,893	43.5%	+353	現預金 +190 売掛金 +113
現預金	1,898	17.5%	2,088	18.5%	+190	
売掛金	1,813	16.7%	1,926	17.1%	+113	
その他	827	7.6%	878	7.8%	+51	
固定資産	6,321	58.2%	6,366	58.2%	+45	有形固定資産の取得(施設・薬局他) +173 減価償却費 △110 のれん償却 △39 有価証券増減 △57
有形固定資産	4,284	39.4%	4,355	38.7%	+71	
無形固定資産	1,075	9.9%	1,034	9.2%	△41	
その他	961	8.8%	976	8.7%	+15	
資産合計	10,862	100.0%	11,259	100.0%	+397	
流動負債	4,255	39.2%	4,210	37.4%	△45	買掛金の増加 +200 借入金の減少 △183
買掛金	2,224	20.5%	2,424	21.5%	+200	
借入金	1,442	13.3%	1,259	11.2%	△183	
その他	589	5.4%	519	4.6%	△70	
固定負債	3,299	30.4%	3,611	32.1%	+312	長期借入金の増加 +283 純資産の増加 +130 (自己株式の増加 △30) (利益剰余金 +178)
長期借入金	2,926	26.9%	3,209	28.5%	+283	
その他	373	3.4%	401	3.6%	+28	
純資産合計	3,307	30.4%	3,437	30.5%	+130	
負債・純資産合計	10,862	100.0%	11,259	100.0%	+397	

■ 2011年2月期 第2四半期 連結CF

(単位:百万円)

	10年2月期 第2四半期	11年2月期 第2四半期	増減額
営業活動による キャッシュフロー	478	365	△113
投資活動による キャッシュフロー	△94	△176	△82
財務活動による キャッシュフロー	196	1	△194
現金等の増減額	580	190	△390

第2四半期の要因

【営業活動によるCF】

税金等調整前純利益	+464
減価償却費・のれん	+150
売上債権の増加	△113
仕入債務の増加	+198
法人税の支払い	△255

【投資活動によるCF】

有形固定資産の取得	△65
-----------	-----

(単位:百万円)

	10年2月期 第2四半期	11年2月期 第2四半期	増減額
現金等の期首残高	1,428	1,891	+462
現金等の期末残高	2,008	2,081	+72

【財務活動によるCF】

長短借入金の調達・返済	+100
自己株式の取得	△30
配当金の支払額	△67

■ 主な投資内訳

【投資内訳】

(単位:百万円)

	06年2月期	07年2月期	08年2月期	09年2月期	10年2月期	11年2月期 第2四半期	合 計
調剤薬局事業	287	788	647	71	113	81	1,987
(新店舗)	287	81	55	71	113	81	688
(M & A)	—	707	592	—	—	—	1,299
ヘルスケア事業	1	116	102	324	15	99	657
不動産事業他	52	362	29	2	54	47	546
合 計	340	1,266	788	397	182	227	3,200

【フリー・キャッシュフロー】

(単位:百万円)

	06年2月期	07年2月期	08年2月期	09年2月期	10年2月期	11年2月期 第2四半期	合 計
営業キャッシュ・フロー	605	515	350	588	901	365	3,324
投資キャッシュ・フロー	△423	△1,215	△927	△422	△214	△176	△3,377
フリー・キャッシュフロー	182	△700	△577	166	687	189	△53

※11年2月期下期投資 ～ヘルスケア事業にて10億円前後を計画

IV. セグメント別事業展開

I. 当社の事業展開

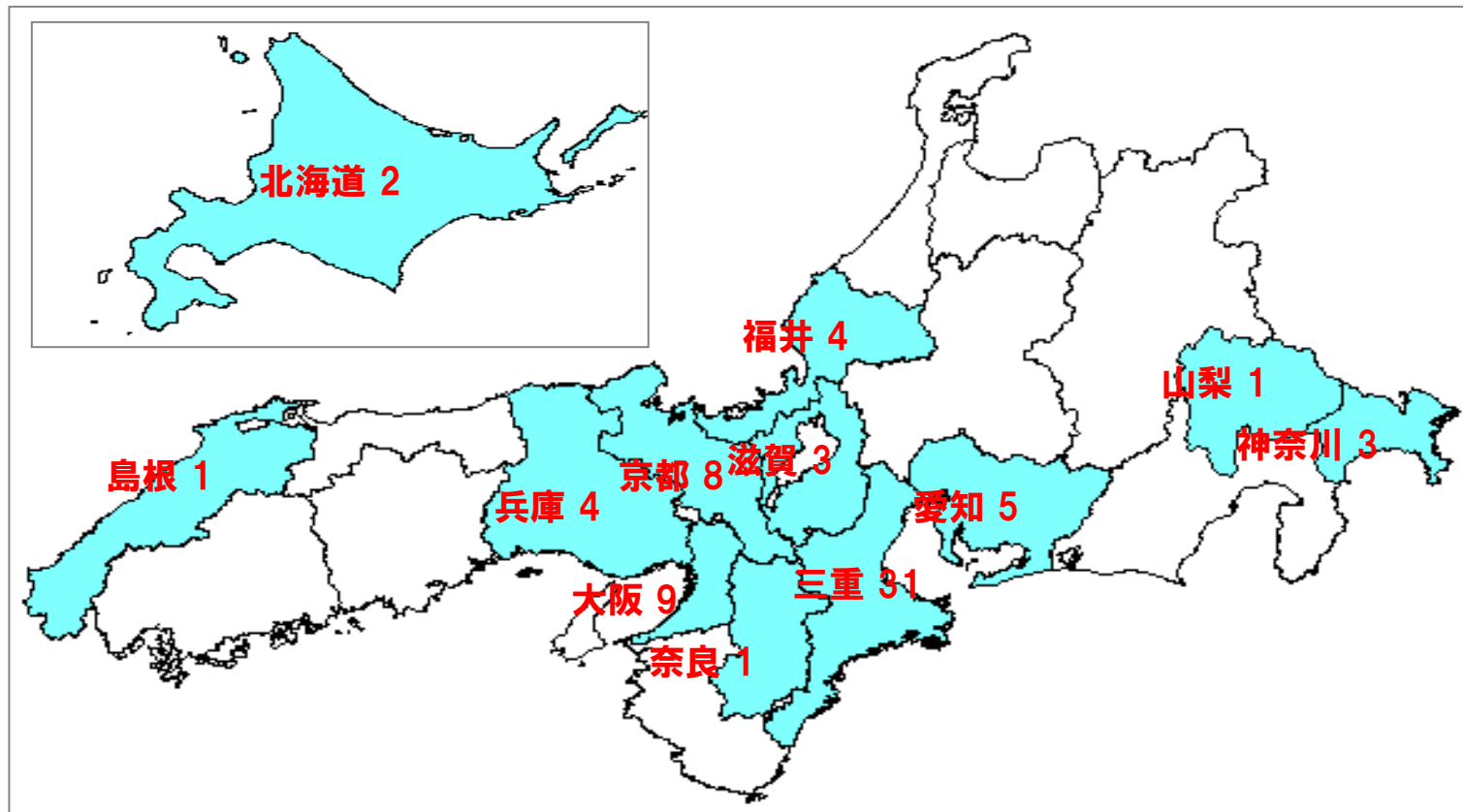
II. 事業を取り巻く環境変化

III. 第2四半期決算概要

IV. セグメント別事業展開

調剤薬局事業 出店状況

◆ 1道2府9県に72店舗展開



区分	病院	クリニック	合計
店舗数	42	30	72

■ 調剤薬局事業（全体売上の92.8%）

既存店、新規店別の売上高

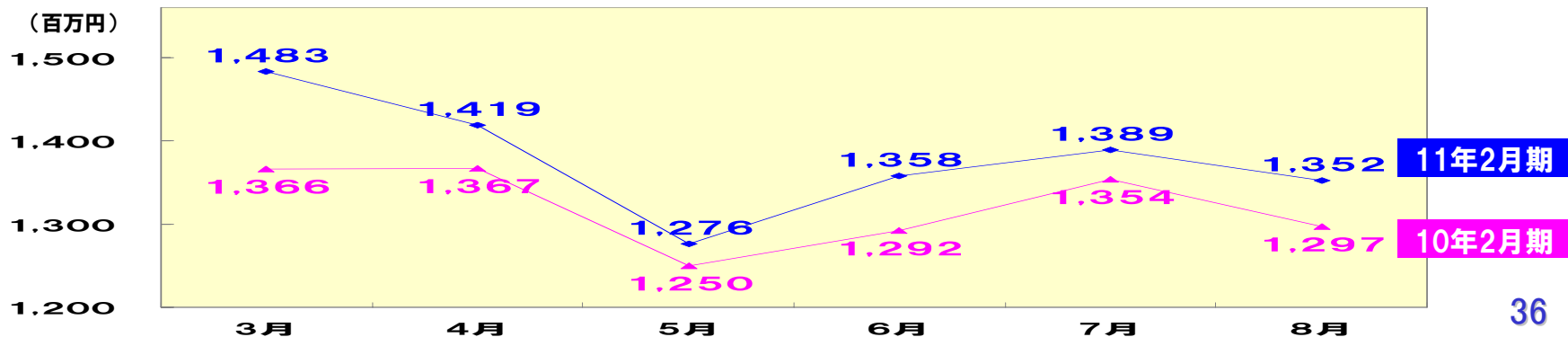
- ☆既存店売上が増加（前年比 +2.1%）
- ☆新規店舗は10.2期 2店舗、11.2期 上期1店舗

【売上構成】

（単位：百万円）

	10年2月期 第2四半期累計	11年2月期 第2四半期累計	増減額	前期比	備 考
売 上 高	7,926	8,277	+351	+4.4%	11.2期上期 新店 1、閉局 1
既 存 店	7,857	8,019	+162	+2.1%	10.2期 新店 2、閉局 1
10.2期出店	0	192	+192	—	
11.2期出店	—	34	+34	—	
閉 局 店	69	32	△37	—	

【月次売上の前年比較】



調剤薬局事業

売上原価と売上総利益

☆売上原価が上昇するも売上増加にてカバーし、売上総利益は前年比増加
 ・技術料の増収 ～処方箋応需枚数の増加および技術料単価の上昇によるもの

(単位:百万円)

	10年2月期 (第2四半期)		11年2月期 (第2四半期)		前期比増減		年間計画の進捗率	
		構成比		構成比		ポイント	年間計画	進捗率
(処方箋応需枚数)	811,934	—	843,006	—	+31,072	—	16,533,903	51.0%
売上高合計	7,924	100.0%	8,276	100.0%	+352	0.0P	15,962	51.8%
薬剤料	6,249	78.9%	6,494	78.5%	+245	△0.4P	12,481	52.0%
技術料	1,628	20.5%	1,728	20.9%	+100	+0.4P	3,381	51.1%
その他	47	0.6%	54	0.7%	+7	+0.1P	100	54.0%
売上原価合計	7,188	90.7%	7,528	91.0%	+340	+0.3P	14,539	51.8%
材料費	5,601	70.7%	5,860	70.8%	+259	+0.1P	11,206	52.3%
労務費	1,172	14.8%	1,249	15.1%	+77	+0.3P	2,496	50.0%
設備関係費	245	3.1%	239	2.9%	△6	△0.2P	466	51.3%
諸経費	172	2.2%	178	2.2%	+6	±0.0P	370	48.1%
売上総利益	736	9.3%	749	9.0%	+13	△0.3P	1,422	52.7%

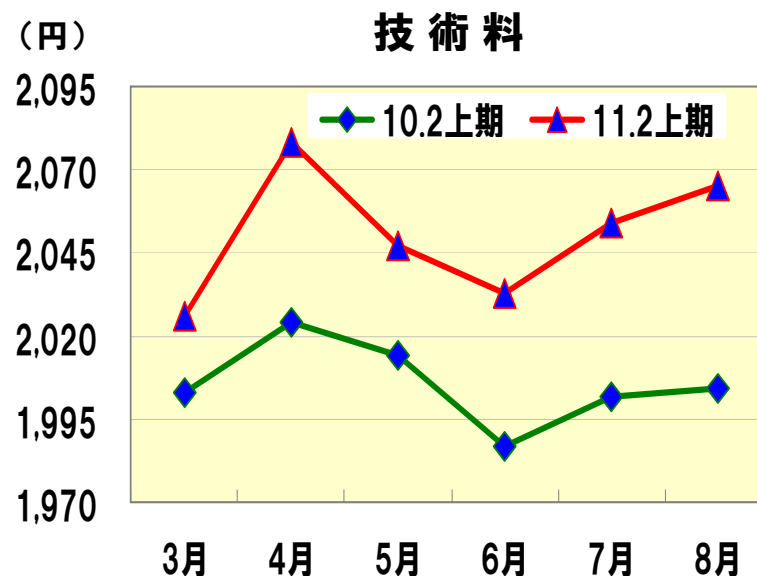
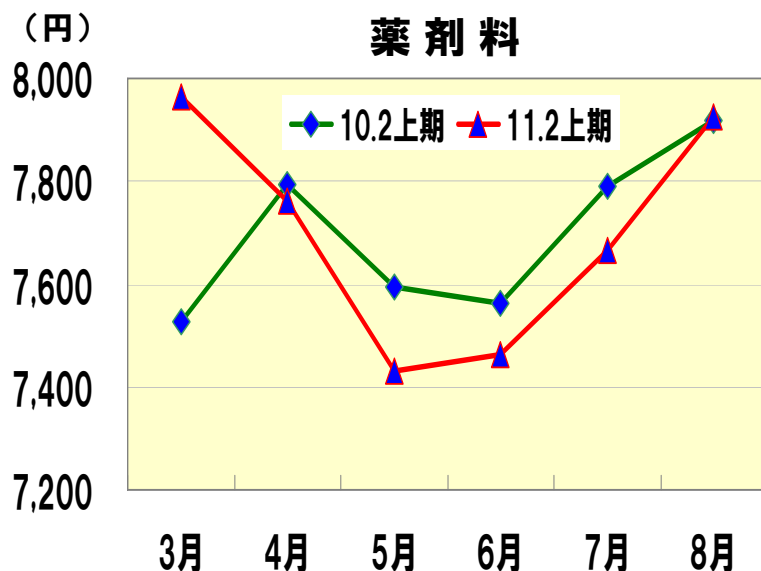
調剤薬局事業

処方せん枚数、処方せん単価の前年比較 株式会社メディカル一光

【売上構成】

	10年2月期 第2四半期累計	11年2月期 第2四半期累計	増 減	前年比
処方せん枚数(枚)	811,934	843,006	+31,072	+3.8%
処方せん単価(円)	9,702	9,754	+52	+0.5%
薬剤料単価	7,696	7,704	+8	+0.1%
技術料単価	2,006	2,050	+44	+2.2%

【処方せん単価の前年比較】



調剤薬局事業

処方せん単価の推移(病院・クリニック)

株式会社メディカル一光

【調剤薬局 全店舗】

	第24期中間	第25期中間	第26期中間	増減(25/26)	増減(24/26)
店舗数(店)	70	71	73	+2	+3
薬剤料売上(百万円)	5,771	6,249	6,494	+245	+723
技術料売上(百万円)	1,602	1,629	1,728	+100	+126
1枚あたり処方せん単価	9,043	9,702	9,754	+52	+711
(薬剤料単価/円)	7,078	7,696	7,704	+8	+626
(技術料単価/円)	1,965	2,006	2,050	+44	+85

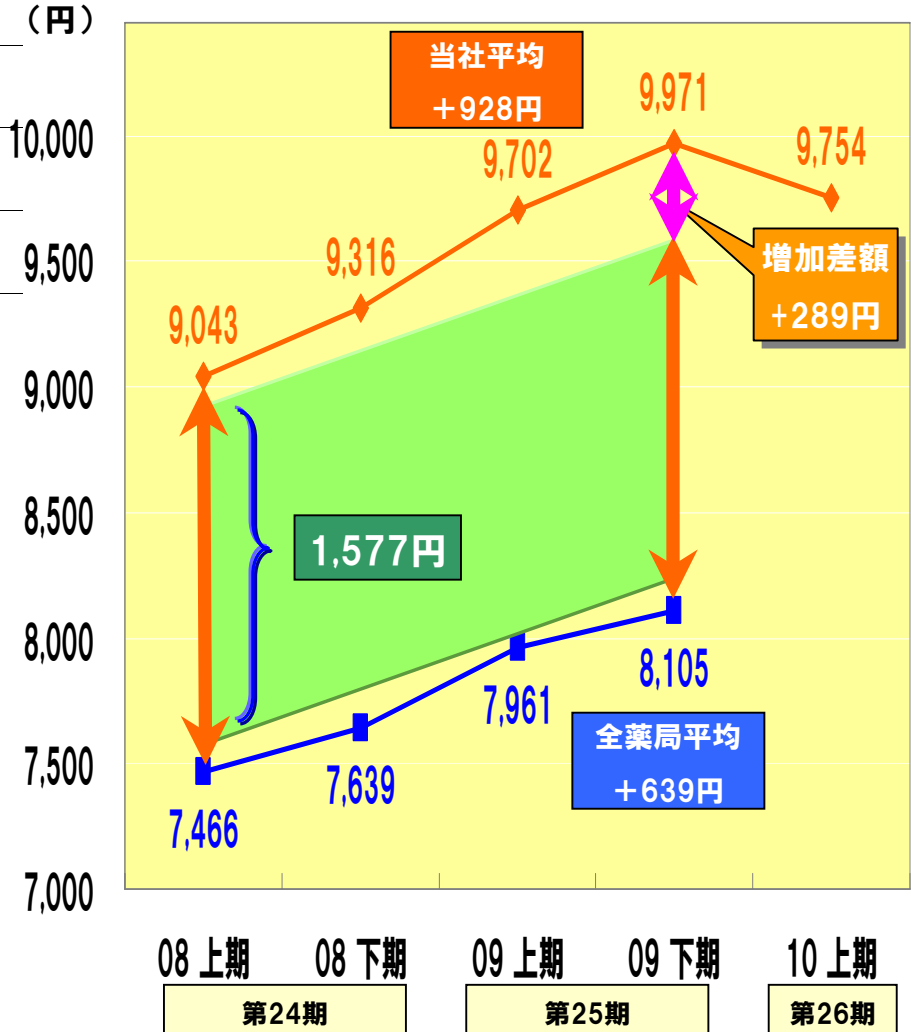
【病院 門前店舗】

	第24期中間	第25期中間	第26期中間	増減(25/26)	増減(24/26)
店舗数(店)	41	42	43	+1	+2
薬剤料売上(百万円)	4,683	5,091	5,286	+195	+603
技術料売上(百万円)	1,069	1,102	1,163	+61	+94
1枚あたり処方せん単価	10,943	11,700	11,760	+60	+817
(薬剤料単価/円)	8,910	9,619	9,639	+20	+729
(技術料単価/円)	2,033	2,081	2,121	+40	+88

【クリニック 門前店舗】

	第24期中間	第25期中間	第26期中間	増減(25/26)	増減(24/26)
店舗数(店)	29	29	30	+1	+1
薬剤料売上(百万円)	1,089	1,158	1,209	+51	+120
技術料売上(百万円)	533	527	566	+39	+33
1枚あたり処方せん単価	5,596	5,961	6,021	+60	+425
(薬剤料単価/円)	3,756	4,096	4,102	+6	+346
(技術料単価/円)	1,840	1,865	1,919	+54	+79

処方せん単価の推移

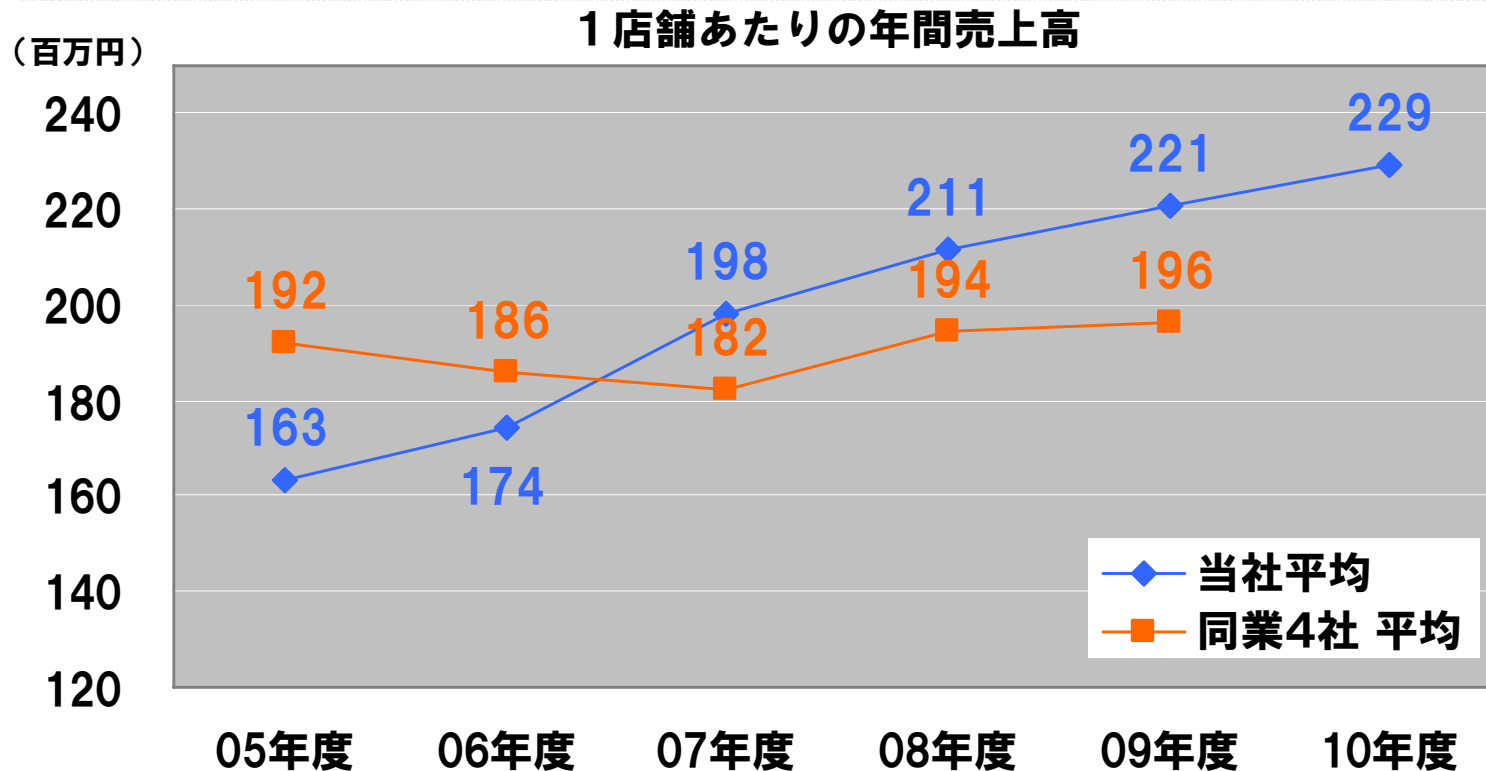


全薬局平均は厚生労働省の「最近の医療費(電算処理分)の動向」を参照

調剤薬局事業

1店舗あたりの年間売上高

株式会社メディカル一光



		05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度
当 社	期末店舗数	61	67	69	71	72	72
	1店舗売上高	163	174	198	211	221	229
同業4社	期末店舗数	379	415	518	564	632	
	1店舗売上高	192	186	182	194	196	

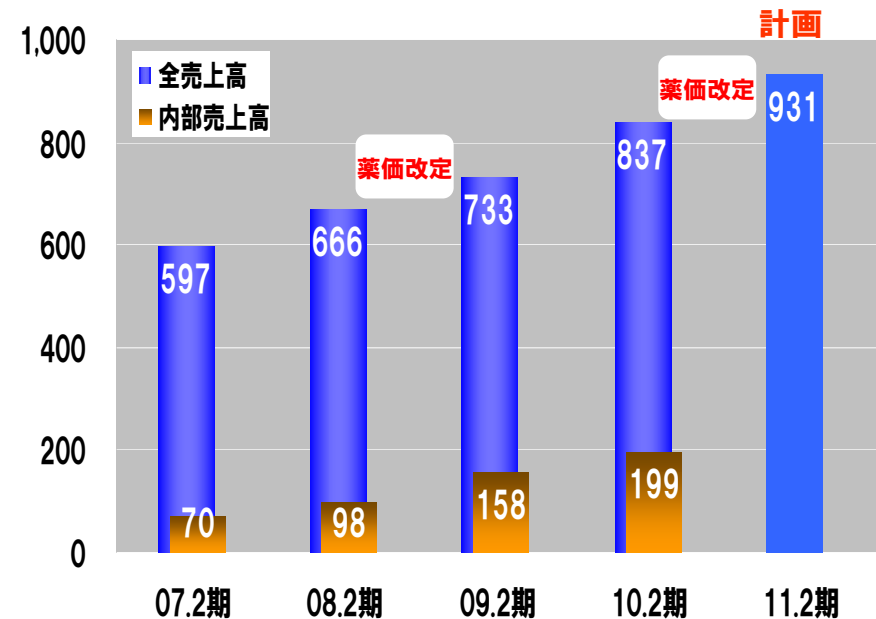
出所: 各社 開示資料

医薬品卸事業

事業内容と内部売上高

(単位:百万円) (百万円)

	第2四半期累計		前期比	
	前期実績	今期実績	増減額	%
売上高合計	406	442	+36	+108.9%
医療機関売上	314	328	+14	+104.5%
内部売上	92	114	+22	+123.5%
営業利益	21	21	±0	+100.0%



医薬品卸事業の売上高(内部売上高を含む)

(単位:百万円)

	第23期		第24期		第25期		第26期
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期
			薬価改定				薬価改定
売上高合計	316	349	348	385	406	430	442
医療機関売上	280	287	273	302	314	323	328
内部売上	36	61	75	83	92	107	114
営業利益	15	12	11	14	21	23	21

☆ジェネリック医薬品の使用促進策

2010年4月 ~後発医薬品調剤体制加算

2008年4月 ①医療機関~処方箋料の加算

②調剤薬局~調剤体制加算 4点

③国立病院~使用促進

④追補収載~5月・11月の年2回

ヘルスケア事業

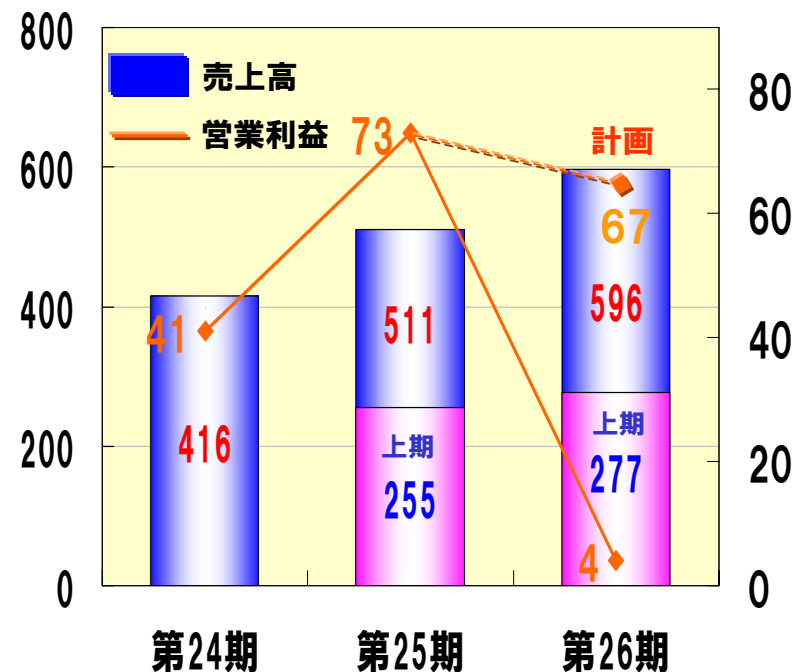
(単位:百万円)

	第2四半期累計		前期比	
	前期実績	今期実績	増減額	%
売上高合計	255	277	+22	+9.7%
営業利益	40	24	△16	△39.8%

※有料老人ホームへの初期投資費用(今期 3施設分)

第26期上期	20百万円
第26期下期	43百万円

(百万円)



(単位:百万円)

	第24期 年間合計	第25期			第26期	
		H21.3~8	H21.9~2	年間合計	H22.3~8	年間計画
売上高合計	416	255	256	511	277	596
営業利益	41	40	33	73	24	4

【平成22年8月 ハーモニーハウス出雲を開設】

1. 所在地 島根県出雲市
2. 施設種類 介護付有料老人ホーム
3. 定員 48名(全室個室)
4. 開設 平成22年8月



外観

食堂



浴室

■ ヘルスケア事業 今後の事業計画

ヘルスケア事業を第2の成長エンジンとして、積極的に展開する

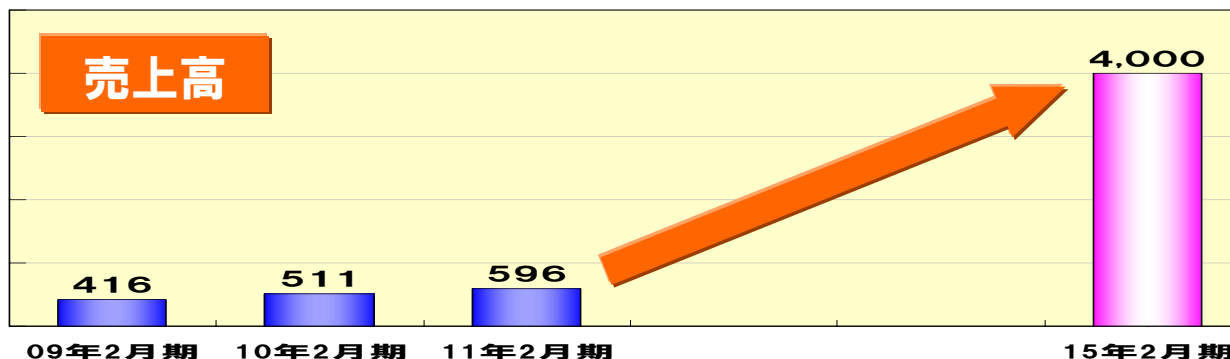
⇒ M & Aによるスケールの拡大も

☆基本方針 「高齢化社会の進展による社会的ニーズに応える」

☆計数目標 2015年2月期 売上高40億円 経常利益 4億円

有料老人ホーム	<ul style="list-style-type: none"> ・2011年2月期からの3期間で10施設を開設 ・2015年2月期に、20施設体制へ
メディカルモール 病院施設 その他	良質な案件を発掘

(百万円)
5,000
4,000
3,000
2,000
1,000
0



■ 2011年2月期 連結業績 通期計画

☆第2四半期の業績は、計画を上回り進捗している

☆セグメント別売上計画においても、各事業とも計画通りに進捗している

(単位:百万円)

	11年2月期計画	
	第2四半期	通 期
売 上 高	8,643	17,333
営 業 利 益	415	826
経 常 利 益	379	750
当 期 純 利 益	193	362

(単位:百万円)

11年2月期 第2四半期実績		
実 績	計画比増減	通期進捗率
8,920	+277	51.5%
457	+42	55.3%
429	+50	57.2%
245	+52	67.7%

(セグメント別計画の進捗)

(単位:百万円)

	11年2月期 売上計画	
	第2四半期	通 期
【 合 計 】	8,643	17,333
調剤薬局事業	7,993	15,970
医薬品卸事業	443	928
ヘルスケア事業	275	592
不動産事業	37	74
(連結消去)	△105	△231

(単位:百万円)

11年2月期 第2四半期実績		
実 績	計画比増減	通期進捗率
8,920	+277	51.5%
8,276	+283	51.8%
442	△1	47.6%
277	+2	46.8%
37	±0	50.0%
△114	△9	49.4%

<調剤薬局事業>

- ・薬価差益を予算化
- ・調剤機器の更新を予算化
- ・新店舗費用予算化

<医薬品卸事業>

- ・薬価改定に伴う売上減少を予算化
(薬価マイナス 10%~15%)
- ・GE普及促進策にて増加傾向

<ヘルスケア事業>

- ・今期に3施設を計画
- ・開発経費を予算化
～上期実績 20百万円
～下期計画 43百万円

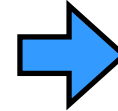
■ 中期目標

株式会社 **メディカル一光**

(1) 計数目標

第25期(2010年2月期)

・売上高 171億円
・経常利益 8.9億円



第30期(2015年2月期)

・売上高 300億円
・経常利益 20億円

- (2) 経営計画
- ☆調剤薬局事業を収益基盤として、一層の体質強化を図る
 - ☆ヘルスケア事業は、第2の成長エンジンとして積極的な展開を図る
 - ☆M&Aを含めて事業の規模の拡大を図る

<既存事業>

①調剤薬局事業	◆店舗開発と併せ、M & Aに注力し、規模の拡大を図る
②ヘルスケア事業	<p>◆2010年を初年度として、2013年までの3年間で10施設の有料老人ホームを開設する</p> <p>◆2015年2月期に、有料老人ホーム20施設を運営し、売上高40億円、経常利益4億円を目指す</p>
③医薬品卸事業	◆ジェネリック医薬品市場の拡大に即した販路拡大を図る
④不動産事業	◆保有資産の有効活用を図るとともに、高利回り物件を開発する

■ お問い合わせ先

株式会社 メディカルー光

株式会社メディカルー光 IR担当
電話: 059-226-1193(代表)
FAX: 059-227-6107
E-mail: ir@m-ikkou.co.jp
URL: <http://www.m-ikkou.co.jp>